



国際ロータリー第2510地区・DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL

2002-2003 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER No.11

ガバナー月信

5月号
May

2002-2003年度ガバナー GOVERNOR

小林 博 KOBAYASHI HIROSHI

〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目北海道医師会館6F 電話 011-219-2510 Fax 011-222-1526 E-mail:scs-hk@phoenix-c.or.jp
Odori-West 6, Ishikai Bldg. 6F, Chuo-ku, Sapporo, Hokkaido, 060-0042 Japan Tel.81-11-219-2510 Fax.81-11-222-1526
E-mail:scs-hk@phoenix-c.or.jp



ガバナーレター

指導者が毎年変わるということ



小林 博

1999年の国際協議会でカルロ・ラビッツァ会長エレクト(1999-2000年度)は、ロータリーの指導者が毎年変わるこの意味について大変素晴らしいスピーチをされている。5月は特別な月間ではないので、この機会に私は「ガバナーの言葉」に代えてラビッツァ氏の会長講演「ロータリー2000の課題：指導力の持続」の骨子を紹介させていただきたい。この訳文はわが地区の野口信夫パスト・ガバナーからご恵与いただいたものであることを附記し、ここに感謝する。

すべてのロータリアンが指導者であるからロータリー指導者となる均等の機会に恵まれるという論理的背景によって、毎年7月1日に指導者が入れ替わります。これは、短い間に法人を破綻させかねない経営システムです。ですが、ロータリーならではの本質の一部でもあります。これが他の団体と異なる点です。7月1日に指導者が替わることは、ロータリー不変の特徴です。ですが、指導陣が毎年替わったとしても、プログラムや傾向も関連連して変化するには及びません。

私が国際ロータリー会長ノミネーになった後、グレン・キンロスRI会長は私をエバンストンに呼び、キンロス会長やレイシー会長エレクトと一緒に重要な意志決定に私が加わるようにしてくれました。これがロータリーにとって歴史的瞬間であったのを知っている人は殆どいません。この前例のない措置を講じたのはグレン元会長の偉大な功績と言えるでしょう。本年度中、ジム会長と私は殆ど毎日のように協議し、会長ノミネーのデブリン氏をこの協議に喜んで迎え入れました。実際のところ、会長ノミネーとして1年間研修できるようにし、会長職関連の従事期間を3年にするようRI会長指名日程を変えるのが私の切なる希望です。

トップ3人のロータリー指導者の継続性が、組織にとって特に優秀で賢明に働く職員にとって、緊急に必要とされる安定感をもたらします。既に皆さんにお話しましたように、私は見本を示して指導するつもりです。これが最初の適例です。国際ロータリーの3人の最高指導者が協力したように、ガバナーの皆さん一人一人が2人の後任者と三頭制を築くようにお願いします。これは皆さんの権限を奪うものではなく、21世紀に成功するために必要な安定性を地区にもたらします。地区レベルの総意づくりに模範を示せば、クラブ指導者のチームワークを推進する最上の方法となるでしょう。

後任者と協力し、複数年度プログラムに重点を置くという考え方は、ロータリーの伝統を破るものです。この伝統はこれまでは大変役立ってきました。ですが、来る千年期の増大するニーズに立ち向かうには、もう受け入れられないものになっています。最高責任者が毎年替わる企業を想像してみてください。この1年交替制でロータリーが、94年間生き残れたのは幸運としか言いようがありません。

(中略)

何としても伝統にしがみつこうとするロータリアンに対しては、創始者ポール・ハリスの次ぎの言葉に注意を喚起して下さい。「運動は年を経るにつれ、慣行化します。伝統が理性の行使を阻みます。今までいつもこうだったからと云う理由だけで、価値のないものや不合理なものが続けられます。かつては存在理由があったとしても、もはや存在理由のないことが明らかであっても誰も前例を敢えて破ろうとしません。精神を無視して法文を文字通り履行するようになっているのです。」

この言葉は、ロータリーを変化のない千年一日のごとき団体にしたくないと私たちに物語っています。創始者ですら、賢明なる変化の必要性を認識していたのです。時代遅れの伝統に疑問を感じ、存在理由や適切さを欠く先例を破ろうとすると、ロータリーの精神はポール・ハリスの言葉を実行に移します。(このあと省略)

目次

ガバナーレター	小林 博	2	アンケート調査の結果と分析(第3回)	15
地区協議会報告		3	ロータリー財団への寄付のお願い	18
2004年 規定審議会に立法案の提出を考慮中のクラブへ		4	クラブ活動紹介	19
2004-05年度 長期派遣候補学生募集要項		4	函館RC・栗山RC・室蘭東RC・岩見沢東RC・留萌RC・えりもRC	
ガバナー日記		5	ロシア部会設立準備会開催のお知らせ	21
ロータリーQ&A		8	ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます	22
文庫通信		8	掲示板	22
地区活動紹介		9	訃報	22
家庭奉仕委員会・米山道男・友情交換委員会			事務所だより	22
第3回・第4回ワークショップのご案内		13	3月会員増減数・出席率報告	23
米山記念奨学生紹介		14	5・6月地区カレンダー	23

地／区／協／議／会／報／告

本年度の地区協議会は地区内の各クラブから次年度会長、幹事、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・新世代の各委員長、地区役員など総勢600名が集まり、4月19日に千歳市民文化センターにおいて開催されました。

小林ガバナー点鐘・挨拶の後、佐藤ガバナーエレクトの次年度RI会長のテーマと次年度地区運営方針について説明があり、RI2830地区黒田PGより会員増強について、そして西條研修リーダーから女性会員について講演があり午前の部を終了しました。

午後からは7つの分科会に別れ、熱心な勉強と討論がなされ次年度に向けての準備に一段と熱が入ったようでした。

プログラム ▶▶▶▶▶

08:45	登録受付開始		10:30	会員増強と退会防止について(講演)	RI会員組織コーディネーター(D2830.PG) 黒田 正宏
09:15	開 会 大ホール		11:30	地区研修リーダー講演	地区研修リーダー(PG) 西條 正博
	司会:ホストRC実行委員会 羽芝 涼一		11:50	諸事お知らせ	ホストRC SAA 原 明
	点 鐘 ガバナー 小林 博		12:00	昼 食 — 休憩 —	各分科会場へ移動
	国歌斉唱		13:00	分 科 会 (7分科会)	
	ロータリーソング「奉仕の理想」		14:55	休 憩 — 15分 —	大ホールへ移動
09:20	歓迎の言葉	ホストRC会長 田口 廣	15:10	分科会報告	各分科会リーダー
09:30	役員紹介	ガバナー 小林 博	16:10	所 感	ガバナー 小林 博
09:35	ガバナー挨拶	ガバナー 小林 博	16:20	謝 辞	ガバナー・エレクト 佐藤 秀雄
09:45	ガバナー・エレクト講演		16:35	閉会の言葉	
	ガバナー・エレクト 佐藤 秀雄			ホストRC実行委員長 大井 綱雄	
10:20	休 憩 — 10分 —		16:40	点 鐘	ガバナー 小林 博



ガバナー 小林 博



ガバナー・エレクト 佐藤 秀雄



地区研修リーダー 西條 正博



2004年規定審議会に 立法案の提出を考慮中のクラブへ

地区規定審議会代表議員
石垣博美 (札幌セントラルRC)

衆知を集めロータリーの近未来に向けた形作りを行う規定審議会が、2004年6月14日～18日シカゴのマリオット・ダウンタウンで開催との案内が2004年規定審議会代表議員の私に送られて来ました。

2510地区の代表議員である私の仕事はこのロータリー年度に次回審議会への提出する立法案の準備が主な審議会関連の活動になります。立法案制定に今日の審議会の形式になったのは1972年の国際大会（ヒューストン）からです。

立法案はロータリーの近未来に向けた形作りへの世界中のクラブによる提案です。この度、クラブからの立法案を提出する場合の地区の証明様式に若干の改定があり手続上の変更がありましたのでご連絡致します。

これはクラブが立法案を提出する場合、2種類の証明書式があり、一つは地区が承認した立法案用、もう一方は地区が承認していない立法案用です。後者の場合は、立法案を規定審議会の審議にかけるために提出するかどうかをクラブが決定

するため、ガバナーが署名した未承認の立法案と証明書を、提案したクラブへと返却することになります。尚、地区が承認したクラブ提出の立法案は、ガバナーの署名入りの証明書と共に、直接RIに提出されます。

この手続上の変更に伴い改訂版の証明書式を使用しなければなりません。この場合、立法案はしかるべき形式で準備し手書きは避けて下さい（手続要覧の第14章参照）。

クラブが提出する立法案は可能な限り早目にRIに提出したいので協力をお願い申し上げます。すべての立法案は2003年6月30日までRI世界本部またはRI日本事務局に必着となりますが、特に地区が承認していないクラブの立法案は前述の地区の手続き後、再検討のためにクラブに返却されなければなりませんので可能な限り早く提出する様にして下さい。

既に各クラブあてに送付された『立法案の提出方法』を会長、幹事さんにご精読の上、作成提出されるようお願い申し上げます。

2004-05年度 長期派遣候補学生募集要項 (アメリカ・カナダ・フィンランド・メキシコ・オーストラリア・台湾)

当地区の青少年交換プログラムとして、2004-05年の派遣学生を下記の要領に基づいて募集致します。ロータリーの親善使節としてふさわしい高校生をご推薦頂くようお願い致します。1クラブ2名までの推薦ができますが、原則として、受入時期のずれるオーストラリア1名とオーストラリア以外の交換国1名の計2名となります。

派遣期間：2004年7～8月からの1学年間（11カ月以上1年未満）
派遣予定国：★アメリカ2または3地区（オレゴン州1地区、ニューヨーク州1または2地区）★カナダ1地区（アルバータ州）★フィンランド・マルチ1地区（フィンランド全域）★メキシコ1地区（中南部）★オーストラリア5地区（東海岸地域5地区）★台湾1地区（桃園・台北県）

募集人員：各地区1名、合計11または12名の予定。
応募資格：2004年1月現在で15歳以上19歳未満で、中程度以上の学業成績があり、ロータリーの親善使節としての留学に対して積極的な態度を持つ男女。ロータリー会員の子女であるか否とは問いませんが、保護者と在籍高校（受入高校）および推薦ロータリークラブの全面的支援（受入学生のホストを含む）を必要とします。

自己負担分：往復の旅費・保険、その他、渡航に必要な費用（航空券・保険については、地区委員会指定の代理店から購入することが条件です）。

応募の方法：推薦ロータリークラブから2003年6月18日（水）（必着）で応募書類をお送り下さい。

選考方法：英語・小論文・面接により選考します。
選考日：2003年6月22日（日）を予定しています。
結果の通知：選考日から約2週間後までに推薦ロータリークラブ宛に通知致します。

注意事項

①推薦した学生が派遣されることとなりますと、推薦クラブで相手地区からの留学生をホストしていただくこととなります。これには受入留学生のための高校及びホストファミリーの手配が含まれます。この際、派遣学生の在籍高校に留学生を受け入れて頂くよう努力して下さい。

②派遣学生の出発はすべての交換国とも2004年7～8月頃です。交換国の学生を受入はオーストラリアの場合2004年1月、オーストラリア以外の交換国では2004年8月です。

③受入留学生を他のクラブと共同してホストする場合、あるいは、他クラブがホストすることが内定している場合は、選考結果通知後、直ちに当委員会にお伝え下さい。

④アメリカに派遣が決定した場合、予防接種が追加が必要になりますので、事前に学生や保護者の方へお伝え下さい。（例えばポリオの場合、オレゴン州の場合は計4～5回、ニューヨーク州の場合は計3回になるように追加で接種が必要です。）アメリカ以外の派遣国でも必要な場合があります。

⑤クラブで推薦する前に、必ず、応募学生・保護者との面接を行い、ロータリー活動やロータリー青少年交換事業の目的を説明する機会を必ず持つて下さい。1クラブから2名まで推薦できますが、原則としてオーストラリア1名と受入時期のずれる他の交換国1名の計2名となります。

⑥派遣する相手地区との交換は確認していますが、相手地区の多くは現地で選ばれた学生の人数に応じた交換をおこなっています。また、多くの国で縮小の傾向が見られます。したがって、時として、相手地区ならびに学生の事情により派遣・受入が一時的に中止される可能性があることをご理解下さい。このことは必ず、応募学生ならびに保護者に対しても事前にお話し下さい。相手国からのビザが発給されるまでは、あくまでも派遣「候補」学生です。

⑦派遣候補学生・保護者・推薦クラブ担当者は、当地区青少年交換委員会が実施するオリエンテーションに出席することが義務づけられます。

⑧交換学生の募集・選考・派遣・受入は年度をはさみます。現年度及び次年度のクラブ会長・幹事・青少年交換担当者ははじめ、関係者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

問い合わせ・応募書類請求・送付先(2002-03年度青少年交換委員会事務局)
青少年交換委員会事務局（事務局員：伝庄こずえ）
〒069-1343 夕張郡長沼町旭町南1丁目1-2 KSインターナショナル内
TEL：01238-2-5251/FAX：01238-2-5252
Email：yecd2510@violin.ocn.ne.jp/執務時間 月・水・金(10:00～15:00)

ガバナー日記

音楽はやっぱり楽しい

— 函館の都市連合会 (IM)

3月29日(土) 2時から函館ロイヤルホテルで第10、11グループ合同のIMが遠藤哲二、松見修二両ガバナー補佐リーダーのもと開催。函館空港には松見修二ガバナー補佐の出迎えをうけ函館ロイヤルホテルに直行。しばし歓談のあとIMのホスト役の函館ロータリークラブ(加藤健太郎会長)の臨時例会に出席。第4グループの村上正、第5グループの角掛晴雄両ガバナー補佐の友情参加に助けられる。

IMのテーマは「NPOからロータリーの奉仕を考える」。いま日本には1万以上のNPO団体があって、ロータリーもいふなれば一つのNPOである。ロータリーは他のNPOと同列なのか? 違うとすれば何がどう違うのか?

NPO北海道サポートセンター理事、津田祥子さんの基調講演のあと田中修市(函館RC)コーディネーターと5人のスピーカーによるフォーラム。

フォーラムのテーマは「奉仕の理想:ロータリアンが失ってはいけないものとは」。時間制約もあってNPOそのものについての話と、奉仕とは何かの話との焦点が少し噛み合わない点もあったが、ロータリーがNPOを真正面から取り出したことに大きな意味があり、少なくともこの点で成功であった。ロータリーの奉仕が他のNPOと一番違う基本はやはり「I serve」なのだろう。

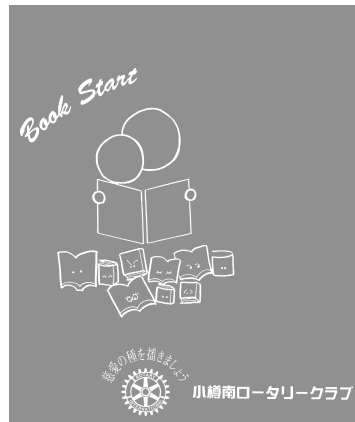
勉強が終わってからの懇親会。特に**函館、函館東、函館五稜郭RC**のコーラスは優劣つけ難くそれぞれ素晴らしかった。近く広島市で開催のロータリー合唱祭に出演予定とのこと。ほかにフルートあり声楽あり。一緒の村山正ガバナー補佐も「音楽はいいな、今日は来て良かった」と。なお、**函館RC**若山直会員の書かれた「ホワイトダックスの誕生」の記事(p.19)が参考になる。

次年度は地区全体としてIMはやらないとのこと。やはり「淋しいな」の声もあり。IMに代わって地区内のロータリー合唱コンクールで復活する手もあるか?

張り切る小樽南ロータリークラブ

4月8日(火)朝、**小樽南RC**の相馬哲也会長がガバナー事務所に見えられ、ブックスタートの絵本と子ども達と保護者に差し上げる携帯用の手提袋を持って来て下さった。この布製の袋は1ヶ700円とのこと。なかなかスマートで使い勝手がありそう。

ブックスタートはご存知のとおり、乳幼児検診に参加した全ての赤ちゃんと保護者に絵本の入った「ブックス



タートバック」を説明文とともに渡すという英国から始まった運動で、道内でも既に幾つかの市町村で開始している。ただ、この運動を取り上げたロータリーは、少なくとも北海道では小樽南RCだけであろう。小樽南RCは近く、小樽海洋少年

団との楽しいひとときを小樽マリンコーナーで開くとのこと、なかなか活発な活動である。また小樽南RCと言えば、地区内でも随一の米山寄付金の多いクラブとしても知られている。クラブとしての総額だけでなく、個人の寄付額も最高クラブの1つである。これも相馬会長はじめ関係者の努力の賜物と心から感謝申し上げたい。

継続は力なり

「こうすれば良かった」「ああすれば良かった」という今年度地区幹事の反省を次年度の皆さんにお伝えしたほうが良いということで、菅原耕治・竹原巖・米山道男の3人の地区幹事と私とが、4月12日(土)に竹原幹事の運転する車で千歳全日空ホテルへ赴いた。佐藤ガバナー・エレクトはじめ、武石忠俊・木村照男代表幹事のほか次年度地区幹事の皆さん方といろいろ忌憚ない話し合いを持たせていただいた。

従来、ロータリーは単年制と割り切っていたために、前年度からの引き継ぎ、或いは次年度への引き継ぎは全くなかった。しかし、本号の巻頭言にも書いたように重大な問題については、2~3年度にまたがったガバナーや地区幹事間での話し合いがあったほうがよいのではなかろうか。1999-2000年度のカルロ・ラビッツアRI会長の言葉を借りれば、計画の継続はロータリーの革命的な進歩に繋がる筈である。とは言っても、それぞれの年度の持ち味を出さなくてはいけない。従って、継続されるべきものと単年でいくべきものが混在していると言わなければならないだろう。

月信、ガバナー公式訪問、地区会員名簿、ガバナー補佐の引き継ぎ会をどうするかなどのほか、緊縮予算についての地区のあるべき姿につき忌憚ない意見交換がなされた。その討論の内容には双方にとって大変意義深いものであったと感じた。

外国に親しむ人集まれ！ — すごい人材揃いにびっくり

国別部会とは要するに、地区内のロータリアンが世界中のいろいろの国にそれぞれの持つ思いを語り合い助け合う機会があったら良いだろうという米山道男地区幹事の発想に基づくものであった。友情交換委員会（金井重博委員長）などの主催による第2回ワークショップが、4月12日（土）夜6時半から札幌パークホテルでもたれた。

私はこの2510地区にはすごい人材がたくさん揃っているということで、嬉しくも思い、また心強くも感じた。江別RC池田会員のネパール、千歳RC岩佐会員のタイ、札幌西RC橋本会員のアフリカ、札幌セントラルRC長谷川会員のロシアへの思いなどいずれもじっくりお伺いしたい魅力的なものである。

このような企画は何もロータリーでは必要ないという意見もあるようだが、ロータリーとして何をどこまで出来るのかを討論するのが今回のワークショップの狙いであった。それぞれの国への思いを勉強し、友情を深め、支援活動をしていけばそれで良いのである。いずれにしても、このような外国との友情交換は楽しくなければならぬだろう。

次年度地区ロータリーのエンジン全開！！

次年度に向けての最終的な準備が地区協議会である。地区役員のほか、72クラブの会長・幹事、クラブ奉仕・社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕・新世代の各委員長が集まり、次年度へ向けての最終的な準備会が4月19日（土）、千歳市民文化センターで行われた。

佐藤秀雄ガバナー・エレクトの最も強調したかった点は2つ。1つは、この地区のIT化を積極的に進めようということ。2つ目は予算の緊縮、経費節減。

他にも黒田正宏RI会員組織コーディネーター（2830地区PG）による会員増強と退会防止についての問題、西條正博研修リーダーによる女性の第1号会員がアメリカのダーラムRCに生まれた時の苦労話の紹介など。現在ロータリーの抱える問題が集中的に論議された。

私は最後の所感で基本的に最も大事なことは長年の慣習におぼれることなく、試行錯誤を恐れず前向きに改革に取り組むこと。クラブが良くなるもならないも今日お集まりのロータリアンのみなさんの「やる気如何」であるということを申し上げた。

クラブ運営も地区運営と同じく単年制に終止しがちであるが、ものによっては継続性をもってやること。従って前年度、次年度との引き継ぎが重要であることなど、自戒の心を含めて率直に申し上げた。

今回の地区協全体を通し佐藤ガバナー・エレクトの議事運営が気張らず気取らずありのままの姿で心から嬉し

く思う。この地区ならではの特徴は、更に遠藤秀雄ガバナー・ノミニニーに引き継がれ、他地区からも羨まれるような良いロータリーが出来ていくであろう。

広報かくあるべき

久しぶりに4月21日（月）、ホームクラブの例会に出席。卓話の札幌真駒内RC丸山淳士会員（地区広報委員長エレクト）の広報に関するお話は大変晴らしかった。何故広報が必要なのか、広報とは何のためにするのか。ロータリーは隠匿の美が尊重されながら、最近のロータリーは然るべきことは積極的に一般市民に広報すべきと方針が変更になっている。その根拠は何か、ということ極めて理路整然、明解に説明し、会員のみんなに深い感銘を与えた。「今日の卓話は良かった」との声は翌日になっても耳にした。

広報は地区活動の中でも最も大事な委員会活動のひとつと思う。丸山淳士会員の広報のお話をみなさん聞かれてはいかがなものか、各クラブにおすすしめ申し上げたい。

周年行事の在り方を考える

4月24日（木）、千歳RCの創立35周年を記念してのシンポジウム『夢、未来、子どもに期待するものは』に参加させていただいた。ロータリークラブの創立記念日というと、そのクラブの過去を振り返り、とかく儀式が主体になることが多い。ところが従来のスタイルに代え、子どもにかかわる千歳の教育委員会、警察、新聞社、青少年施設関係者などのそれぞれの分野の方々の率直な意見発表があり、そのあとみんなで討論するシンポジウムであった。これは極めて有意義な企画であったと思う。

最後のコメントーターとして次期地区子ども奉仕委員会の米山道男委員長が所感をまとめてくれた。私自身も感想として、子どもの問題は子どもだけの問題ではなく家庭問題でもあること、すべてに共通した問題として、大人でも子どもでも相手の言葉を良く聞くこと、相手の人柄、人権、人徳、人格などを心の底から認めること、そして、相手の中に見出される素晴らしい些細なことでも誉めることの3つが、普遍的にもっとも大事ではないかという私見も申し上げた。

さらに新聞報道は「悪い話」が強調され過ぎるが、「良い話」を意図的に多く報道するように努力してはどうか。これを千歳運動として発信できないものかという意見も申し上げた。いずれにしてもロータリークラブの創立の周年行事を従来の枠を超えた新しい在り方を教えてくれたように思う。

シンポジウムが終わって懇親会で初めて千歳セントラルRCの田口 廣会長からお祝いの言葉が述べられ、あとは酒が入って和気あいあいの楽しい会であった。

ビチャイ・ラタクルRI会長を札幌に迎えて

4月25日（金）12時15分より、ビチャイ・ラタクルRI会長の歓迎会が札幌パークホテルで開催された。お隣の2500地区から217名、当2510地区からは417名の合計634名の参加があった。札幌大学吹奏楽団のタイ国国歌、日本国国歌の演奏に引き続き、ロータリーソング「R-O-T-A-R-Y」。ホストは伊藤義郎元RI理事。私は日本語の「乾杯」の代わりにタイ語の「チャイヨー」の言葉でみなさんと杯をあげさせていただく。その後、竹山涼一元RI理事の挨拶、RI会長のスピーチ。何回聞いても心から印象に残るスピーチであった。クライマックスはかつてアナハイムで聞いた父親のいない子どもに「あなたが私の父親になってくれたらいい」という言葉からRI会長がロータリーの心に目覚めたというお話で、これは何度聞いても心を揺さぶられるものであった。

会長スピーチのあと2500地区の小船井ガバナーと相談のうえ予め決めていた北海道の全ロータリアンからの謝意として最新最高のデジタルカメラをプレゼントした。品物はNikonのCoolPix5700、経費は両地区で折半。

歓迎会が終わって「今日の歓迎会は良かったね」との多くのロータリアンからの慰めの言葉にホッとしたものである。これもひとえに伊藤義郎元RI理事（札幌RI）、竹山涼一元RI理事（札幌南RI）、2クラブの荒紀男、中島一郎両会長のご尽力のお陰と心から感謝したい。

夜は6時からグランドホテルで両地区の全パストガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーほか計29名が集まったの歓迎会。ビチャイ・ラタクルさんもご満悦のようであった。



今年度はラッキーだった！

「今年度はラッキーだったですね」という言葉は良く聞いた。何故かと聞くと、今年度のビチャイ・ラタクルRI会長はアジア人の心のわかる本当に素晴らしい人だからというのである。確かにそのとおりである。毎年のRIのテーマには感慨深いものが多いが、特に今年の「慈愛の種を播きましょう—Sow the seeds of live」はロータリーの心を伝える名言だと思っている。このような年にガバナーとして巡り合った幸せは心から感謝したい。

ビチャイ・ラタクルRI会長は大の親日家である。そのことはいろんな場面で垣間見ることが出来る。31年前に札幌を訪ねたことがあるとのことで、今回は2度目の訪問。だが、アナハイムのときから「札幌、札幌」と、北海道をえらくお気に入りようだった。今年の12月中旬にはバンコクで日本のロータリアンとだけの友好の機会を持ちたいという非公式の計画をお聞きしたが、もしこれが実現するのなら何とか参加したいものと思う。

『月信』の予算は大丈夫か？

会員のみなさんの月信への熱い思いとか投稿の増加でページ数がいつも30ページを超えていた。そうすれば当然経費も膨らむ。広告代をいただくなど収入増と印刷費の圧縮などを図ったが、それだけでは間に合いそうもなく、当初の月信の予算をオーバーしそうである。ということで、今月号はページ数を24ページに減らしてしまった。竹原巖編集委員長も断腸の思いであろう。月信はビチャイ・ラタクル会長のいわれるボトムアップの具体化に必須のものだが、このことがまだ会員諸士に十分理解されていない。経費的にも1冊100円で済むのだが。



上：懇親会を前に会員との自由なスナップ 下：全員の拍手に迎え送られて

RI会長歓迎会の写真募集

RI会長ビチャイ・ラタクルさんの来札にあたっての歓迎会で撮られた写真の中で、「これぞ!」と思うスナップがありましたら編集委員会あてに5月15日までにお送り下さいませんか。『月信』6月号にてご紹介出来ればと考えております。

ロータリー Q&A

回答

・情報委員会委員長 亀井敏清
・ガバナー事務所

Q: ホームクラブ例会を欠席した場合、他クラブ例会にメイクアップすることにより補填出席することができますが、メイクアップの方法と種類について教えてください。また、必ずメイクアップカードをクラブに提出しなければ出席扱いとは見なされないのでしょうか?

A: ロータリークラブ会員には会員として守らなければならないいくつかの義務があります。「定款・細則の遵守」「地域社会を代表する職種の職業人としての責任」「ロータリーの友誌の購読」「諸会合の時間厳守」「会費の納入」そして「例会出席」があります。会員としての義務にたいして会員の特典もいくつかありますので列記いたします。「ロータリーの記章を着用することが出来る」「世界のロータリアンと友達になることが出来る」「世界中のクラブ例会に出来る」等々があり、例会出席の義務を果たすため特典を利用し他のクラブ例会等に出席で欠席の補填が出来る訳ですが、その他のメイクアップ方法について、手続要覧によるクラブ定款第7条第1節から参照にして記します。

- ◎ホームクラブ定例会の前14日または後14日以内に
 - ①他のロータリークラブまたは仮クラブの例会時間の60%以上の出席
 - ②ローターアクトクラブ・インターアクトクラブ・ロータリー村落共同隊の例会に出席
 - ③RI国際大会・規定審議会・国際協議会・ロータリー研究会・ゾーン大会・RI委員会会合・地区大会・地区協議会・ガバナー指示の地区委員会・IMに出席
 - ④他クラブ例会出席の目的で訪問したとき、定例の時間と場所で例会を開いていなかった場合
 - ⑤理事会承認の奉仕プロジェクトまたはクラブがスポンサーした地域社会の行事や会合に出席
 - ⑥理事会の会合、または理事会承認の奉仕委員会の会合に出席ただし会員が14日以上にわたり海外旅行の場合、メイクアップ期間(定例会の前2週間以内)に拘束されません。
- ◎質問の2点目「必ずメイクアップカードをクラブに提出」についてですが、出席先によっては必ずしもメイクアップカードが発行されるとは限りませんので、会員が自ら報告することで出席が有効となります。

文庫通信



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリーを理解するために

- ◎「わがロータリーへの道(抄録増補版)」ポール・ハリス著; 鈴木徹・竹山涼一・若佐武司共訳 札幌南R.C. 1996 126p [申込先: 札幌南R.C. FAX (011)222-2744]
- ◎「奉仕理念の提唱者 アーサー・フレデリック・シェルドン」田中毅 2002 85p [申込先: 芦屋川R.C. FAX (0797)32-6888]
- ◎「英知と名言(抄訳)」秦野R.C. 1998 55p [申込先: ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「これからのロータリー活動」齊藤博 2003 7p(横浜南R.C.卓話) [申込先: ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「ロータリーへのご案内」長岡成郎 2001 43p [申込先: 長岡成郎 FAX (0480)33-4728]
- ◎「純ちゃんのコーナー(ロータリー3分間情報)」深川純一 伊丹R.C. 2002 28p [申込先: 伊丹R.C. FAX (072)775-1223]
- ◎「ロータリー・チャンネル」長崎南R.C. 1992 44p [申込先: ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「新会員のためのロータリー用語」小林茂 鷹巣R.C. 2002 45p [申込先: 小林茂 FAX (0185)54-2324]
- ◎「小さなクラブの会長時間[点鐘]」福山丸之内R.C. 2002 81p [申込先: 福山丸之内R.C. TEL (084)927-5252]
- ◎「藍壺先生と言う人 米山梅吉物語」内藤茂雄 米山梅吉記念館 2002 40p [申込先: 米山梅吉記念館 FAX (055)989-5101]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F
TEL 03-3433-6456 FAX 03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

第7回 家庭奉仕委員会 からの報告



家庭奉仕委員会

委員長 和田壬三

委員が全員参加して本年度最後の委員会を開きましたので報告申し上げます。

I、本年度の当委員会の活動に対する総括

1、当初の3回の勉強会は、ガバナーに参加して頂き何をなすべきか模索し、その中で委員の率直な意見の交換があり、又ガバナーとも親しくお話が出来、それ以降の委員会活動が、スムーズにいったのではないかと。会場は和田事務所。開催時間は6時、土曜日は4時からであったが特に問題はなかった。

最初の地区内の社会奉仕委員会と世界社会奉仕委員会、学友委員会との合同委員会は、有意義であった。その委員会が縁で、世界社会奉仕事業にクラブとして取り組むことが出来たし、地区社会奉仕委員会の滝川RCの菅原会員や、札幌西RCの村木会員さらに世界社会奉仕委員長の土倉さんなどと知り合うことが出来、とくに菅原会員にはその後の当委員会の活動にも参加して頂き有難かった。

2、勉強会は4回とも講師、内容共に素晴しかった。

①第1回は、土橋信男札幌南RC、前札幌市教育長であり、当委員会の活動に光明を与えてくれた。現代の状況では、家庭生活は、愛情や思いやりで自然に営めるものではなく、訓練によりより豊かになる方法があるんだという貴重な示唆を得ました。

この時には、ガバナー月信に、案内を出したが、深川RCの松本純枝社会奉仕委員長に参加して頂き、以降ずっと当委員会の活動に参加してくれて有難かった。但し、月

信に案内を出しただけでは、あまり効果がないのではないかと。

②第2回は、月信に加え札幌市内及び、空知管内、小樽市、千歳、恵庭の各クラブの会長、幹事、社会奉仕委員長宛に直接案内を出して、参加を働きかけたところ、約25名の参加を得て、土橋芳美先生の親業訓練の講義を聴くことが出来た。先生の話が、委員自身の家庭奉仕に最大の影響を与えた。

土橋先生は、先ず、誉めることを私たちが出来ていないことを知らしめてくれた。それは自己紹介のときに自分の優れていることを話すように指示して話させたところそれが難しいことであること知ったからである。自分すら誉めていないのにどうして他人が誉められるのかというわけである。

委員各人が、如何に変わったかについて報告があったが、小さな家事の手伝いから始めて、よく聞く、誉めることまでに至った経過が語られました。

③池上先生の話は上手であり、内容も興味深いものであった。食事の問題にしても、夫婦の問題を子供に押し付ける問題にしても親が子供に悪影響を与えていることが良く分かりました。

④大場委員からは、知的障害者についての実態やその家族がどのようにして支えあっているかについて具体的に聞くことが出来大変有意義であった。

⑤委員会の委員だけでは、惜しい内容であり、地区内のロータリアンに参加していただけなかったことが最大の反省点であった。

3、第4第5グループIMについて

①総じて、会場の活発な発言があり、成功といえるのではないかと。

②ガバナーからのまとめも良かった。

③一般参加者が少なかったのではないかと。宣伝方法に工夫が必要だったかもしれない。

④内容的には、ロータリアンがどう行動すべきかの視点が、見えなかったのではないかと。

⑤講師間の打ち合わせのときに視点をもう少し明確に確認しておくべきだった。

II、函館ワークショップ（5月9日）の進め方

1、目的 参加ロータリアンに家庭奉仕の大切さを認識してもらう。

2、テーマの設定
‘日頃心がけている家庭奉仕’ ‘心がけたい家庭奉仕’
(家事のこと、家族の共有体験のこと、家族とのコミュニケーションのことなど何でもいい。)

3、進行方法

①ガバナー補佐に開始の挨拶、ガバナーの挨拶。

②参加者全員の自己紹介とテーマについての意見を発表（時間は、2分以内）

③地区からの参加者4名は、5分以内で自己紹介とテーマについての意見発表。

④その中で最も多かった具体的な問題点、重要と思われる問題について絞って、討論する。

4、役割分担

①総司会 大場委員

②ディスカッションの司会 和田委員長

III、次年度活動計画

1、勉強会を最低2回以上行う。

拓殖大学の相馬教授には、食の問題。前北星大学の相場幸子教授には、子供に対する親の関わり方について、お聞きする。

宣伝は、ガバナー月信だけではなく、直接、社会奉仕委員長や会長、幹事に詳しく内容を伝えて、働きかけるべきである。インターネットも活用する。

2、各クラブの活動の状況を月信で紹介して参考にして頂く。少なくとも委員は、所属クラブに働きかけて、家庭奉仕について意識啓発を行う。

3、IMのビデオを各クラブに活用していただく。

4、親業訓練が効果的であることが分かったので、土橋芳美先生の協力を得て、親業訓練初級コース（6時間）を実施していただくように各クラブに働きかける。

“慈愛の種を家庭から” をテーマとする第4、第5グル ープIMについての報告

家庭奉仕委員会

委員長 和田壬三



2月22日札幌南RCをホスト、札幌RCをコホストとして表記のIMが開催されましたが、家庭奉仕に関連する部門だけ報告します。

1、ガバナーの挨拶

ガバナーからは、四大奉仕（クラブ、社会、国際、職業）の大前提として家庭奉仕があつていいのではないかと感じている。演者の選択はこれ以上ない方を人選していただいた。この会の成功は、活発なディスカッションである。そのためは良く聞かなければならない。と援護射撃をして頂きました。

2、土橋信男 前札幌市教育長、前北星大学学長の基調講演



最初に大きな集会で一人の父親が、告白しているテープを聞かせてくれました。内容は、彼は、家庭及び子供の教育は、

妻の役目。自分は、仕事一筋、家庭では亭主関白で良い。と通してきた。箸が無いと「箸が無くてどうして飯が食える」といってテーブルをひっくり返すという具合であった。その結果、長女が、先ず不登校になったので、無理やり学校に置いてきたり、下の子達も連帯責任であるとして、罰を与えたりした事も悪かったのか長男、次男、三男と全員が不登校になった。というものです。

平成13年の統計で、小中学生の不登校の数は、13万9,000人であり、右肩上

がりで増え続けている。高校中退者も10万人を越え右肩上がりで増えている。大検を受ける若者の数も増え続けているし、公立高校で、通信制の学級を計画しているところもある。土橋氏の奥様がなさっている親業訓練講座の受講生にも似たような状況がある。即ちこのような家庭（崩壊の過程）の状況は、例外ではない。

家庭を対象とした社会学によると家庭は、社会の最小の単位であり、家庭が単位になって、社会が出来ている。家庭の平和なくして社会の平和はない。又家庭は、癒しの場でありそこに行くところと元気になる場である。ところが、現状は、家庭は癒しの場どころか家庭の平和を維持することさえ難しい時代である。

その原因は、

- 1)核家族化により、世代の価値の伝達が困難になったこと、核家族の中心である夫婦の関係が、上下の関係ではなくなってしまい、昔の価値観と異なってきたことによる混乱から、破綻する夫婦が増え続けている。
- 2)急激な社会変化、特に電子機器やパソコンなどの操作について、子が親に教わるという関係が生まれたり、豊かな社会が子供にテレビ、雑誌、漫画、インターネット等から得られる情報をもたらし、親の情報は、ほんの僅かなものに低下してしまったなど親が子に何でも教えるという関係が崩れて、親の権威が失われ、子供が親を見下すという事態が見られるようになった。中でも父親の権威の失墜が大きい。家庭でも妻のほうが多い家庭が多くなっている。
- 3)豊かな社会は、心よりも物によって満足するといった価値観をばびこらせてしまい、子供（妻にも）にも物を与え満足させたことが、子供（妻）の心を蝕んできた。
- 4)日本の家庭の伝統的な価値観であった親孝行が、失われている。

このような家庭崩壊の現状を救うのは、家庭に愛の種をまく、具体的には、家庭において互いに仕え合うことである。仕え合うとは、

- ①喜び、悲しみ、痛みを互いに分かち合い、励ましあうこと。

- ②家事はたくさんある。互いに家事も分かち合うこと。子供にも家事を分担させる躰が大事である。
- ③家族と一緒に食事をしたり、旅行をするなどの共有体験が必要である。
- ④家族が話し合うことが必要である。

その方法として、家庭を開くこと互いに他人を家庭に招きあうことが大事である。ロータリークラブはもっと家族会的なことを多く行うべきである。

このようにしている家族には、家庭は、本来の癒しの場、家庭に帰れば元気になる場になるのではない。

先のテープの例の後半の部分をテープで聞かせてもらいました。あることをきっかけに一年後には、長女は、海外旅行に行けるまでに、長男は、福島の通信高校に通い、今年卒業する予定のところまで、次男は、学校に通い始め、三男は、ガイダンス教室に通い始めるところまでに回復したということです。

きっかけは、妻が、毎朝ニコニコしながら、「貴方行ってらっしゃい」と来る日も来る日も声を掛け続けたことから、この社長さんもうしたらこんな笑顔になれるんだということで、その原因を聞いて、自らも変わったことから、このように家庭が回復したということです。

3、土橋芳美 親業訓練協会インストラクター



親であることに訓練はいらないと考えている方が多いが、自分が親として子の為に良かれとして、行ってきた事が、実は、子にどれほど酷い

ことをしてきたかの実例がある。

理想のお嬢さんとして育てられたお嬢さんが、親の言いなりに過ごしたことで如何に自分是不幸であったかを結婚式の前日に懇々と諭された親がいた。良い子を育てたと思いついでいた親は、実際には、子供の人権を侵していたことに気がつかなかったのである。

親業訓練とは、アメリカのトマスゴードンさんが、親と子の関係を良くす

るための方法として開発したコミュニケーションに関する方法である。

子供に問題がある場合には、子供は、どんなに小さくても自分の問題を自分で解決できる能力があるのだから、親が子供が解決すべき問題を取り上げて解決してはならない。子供から相談を受けたときには、“能動的な聞き方”具体的に言えば、子供の言葉を繰り返して、子供の言いたいこと、感じていることを、親が理解したことを子供に伝えるだけに留めるべきである。

子供の問題ではあるが親が問題を抱えるとき、例えば子供が部屋を散らかす。子供が近所の迷惑になるようなことをする。などの場合に困るのは親である。こんな場合、直ぐ叱り付けたり、綺麗にしなさいなどと命令したりする親が多いのであるが、親業訓練では、「私メッセージ」によることを教えている。先の例では、親が子供に、片付ける時間がないことを伝える。とか、親が近所から非難されて困っていることを伝える。のである。

親と子が対立する場合。例えば子供が、店の前でおもちゃを買ってとせがむ時、人前もあるので買ってあげると子供の勝ち、親が強引に子供を引っ張って、店から引き離すと親の勝ちというふうには私たちは、どちらかが意思を通してしまふことが多いが、負けた方に恨みが残る。このような場合「勝負なし法」で解決するのが良い。

この方法は、親と子のために開発されたのであるが、夫婦間、会社の社員と上司との関係にも応用できる。即ち豊かな人間関係を築く方法である。

4、池上公介 池上学院学院長



今は昔と反対の時代になっている。昔は、子供が、親に学校に行かせてくれと頼んだ。今は、親が子供に学校に行ってくれと頼む。

もともと中学浪人の指導をしていたが、今は、彼らよりも不登校や引籠もりの子の指導の方が多くなっている。親との面接を通じ、又寮生の生活習慣

を見るにつけて、子供たちが不登校や引籠もりになった。原因は、親にあることが分かってきた。

一つは、父権の欠如である。父親が、子供の教育に全く関与しないか、関与しても父親の存在感がなくなっている。子供たちに母親が、父親の存在をきちんと説明していない。父親の働きで生活していることすら知らない子供が増えている。

二つ目は、きちんと母親が、国際的に最も優れた食であることが、認められている日本の伝統的な正しい食生活を子供にさせていない。味噌汁を飲んだことがない子供が多い。

三つ目は、先祖を大切にしていない。自分の力だけで、成功したと自惚れている親が多い。

5、大場公孝 社会福祉法人渡島コロニー理事長、精神科医



発達障害児が増えている。自閉症、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）の三種類である。

自閉症は、社会性の障害、言語発達の障害、固執、という特徴があるが、視覚や映像で捉えることが得意なのでこの性質を利用して学習させたり、就労させたりすることが可能である。

学習障害は、読む、書く、聞く、話す、計算する、推論するなどのうち特定の能力の習得が困難な子である。得意なことをさせ、苦手なことは、できかかっていることをさせることが大事。

注意多動性障害には、不注意優位型、多動衝動性優位型、混合型、があるが、注意力が散漫にならないような教室の構造にする。目に入りやすい教材を使うなどの工夫が必要である。

発達障害児の支援に共通することは、褒めること、認めること、出来そうなことから始めることが大事である。このことは、彼らを社会の一員として認めることである。強いものだけがいる社会よりもいろいろな人の価値を認める社会の方が、重要である。

又その家族は、障害者だけではなく

全ての家族の構成員が、痛みを持っているので、互いに助け合い励まし合うことが大事である。

6、松本純枝 深川IRC社会奉仕委員長



地区家庭奉仕委員会の勉強会に参加して、親業訓練のことで知り、訓練を受けてみた。父の介護疲れで毎朝、頭痛を訴える

母に対し、母だけに父の介護を任せてきた自分を責められている気がして、とてもいやな気分で何年間も母の頭痛の訴えを聞いてきたが、どうすることも出来なかった。四回目の訓練のとき、火傷を負って泣き叫ぶ子供が、母から、「すごい火傷をしたみたいね、痛いのね」と言葉を掛けられて、泣くの止めた。という例が出ていたので、心を込めて、「お母さん、毎朝起きると、一番具合が悪いのね、それで頭痛がするのね。」と言葉をかけたところ、翌朝から、その訴えが止まったのである。

7、パネラー間のやり取り

大場：「池上先生、LDやLDHDの方は、親が、躰のせいと気にされる方が多いのではないかと、そんな時どのように親に接していますか。」

池上：答え「皆、躰のせいと気にしている。その子の特徴を生かした教育をし、この子たちの特徴を受け入れる企業があることを話し安心させている。」

和田：「芳美先生、妻たちは、毎晩遅く薄野から帰る亭主を遊び歩いていると誤解しているようである。妻から、「貴方、毎晩薄野でいい思いをしていらっしゃるってこと」などと言われたらどう答えたらよろしいでしょうか？」

悪い例

「貴方、毎晩薄野でいい思いをしていらっしゃるってこと」 夫「だって仕事だから仕方がないだろう」 「本当に仕事なの」 夫「何だその言い方」

相手が否定的な言い方をしてきたときには、決してこれに乗らないことが大事である。

良い例

「貴方、毎晩薄野でいい思いをしていら

っしゃること」 夫「君と一緒にだっ
たらもっと楽しかったよ」 「そう、
どうも有り難う」 夫「遅くなった
ので心配して起きていてくれたんだね。
有り難う」 「分かってくれてうれ
しいわ」

8、フロアーから、活発な意見がありま したが、家庭奉仕に関係する意見は 以下の通りです。

南部会員（札幌東）：「子供は、ス
トレスを感じる学校から帰ったとき、
優しく「お疲れさん」と母親から声を
掛けられることで癒されるが、カウ
ンセラーをしている実感として、最近
は子供が帰っても声をかける母親がい
ないことが多い。」

北澤豊次郎会員（札幌真駒内）：中
川会員（手稲）から食べ物の重要性の
発言があり、和田が、岩手大学の沢
博先生が、偏った食生活が、体だけで
はなく心も蝕むということを少年院の
収容者の食生活やねずみを使った動物
実験で確かめたということ。「子育て
崩壊」という書物の中で発表している
が、池上先生に感想を聞いたところ、
「確実に関連性があると感じている。非
常に激しい子、変わっている子は必ず
偏食がある。最近も頭は良いが素行が
変な子がいたので、食生活について尋
ねたところ、昼も夜も外食で偏った食
生活であったが、寮で正しい食生活を
させたところ、変な素行が治まった」
とのこと。

砺波（札幌幌南）が、夫婦の会話を
補うのに、文書でやり取りする方法が
道新に出ていたことを紹介した事に対
し、土橋芳美さんから、「定年間際の主
婦の悩みは、夫と一日中過ごす事の鬱
陶しさである。それは、夫婦に共有体
験が無いことによる。いくら愛し合っ
ていても共有体験が無ければ、コミュ
ニケーションも成り立たない。そのた
めの方法は、家庭を解放し、客を招く
ことである。」との発言がある。これに
関連して、はまなすRCの戸部アナマ
リアさんから、「夫と仕事は共有してい
るが、仕事は議論が多く共有体験には
ならず、子供が成長してからは、会話が
無くなった。ところがロータリーに入
り、共有体験が出来るようになってか

ら、会話が再開したところ、夫がこん
なに話せる人間であることが分かっ
た。」との発言がありました。 **斉藤**
（札幌幌南ロータリーアクトクラブ）不登
校の子供の気持ちが分からないのでお
聞きしたい。

池上「一人っ子が多く、しかも王子
様のように育てられて、困難に自分で
対処する術を身につけていない。だか
ら、学校に行って、様々な障害がある
と耐えられずに楽な家にこもってしま
う。」

高下（札幌西）「子育て相談をして
いて、不登校の家庭は、父親が子育て
に全く関心がない場合が多いと実感し
ている。赤ちゃんを育てるときから、
父親は、赤ちゃんに接するべきである。
又相談者は、全て専業主婦であり、夫
が子供にも妻にも関心を持ってけれ
ないという悩みが多い。薄野からも早
めに腰を上げて帰るべきではないでし
ょうか。」

土橋信男「子育ては、両親がバラ
ンスよく関与しないといい子が育た
ない。日本の企業家は、家事や子育て
にもっと配慮すべきである。PTAも
ほとんどが母親である。」

南部（札幌東）：子育てに父親の協
力が必要であるが、夫婦としての愛情
の交換も子育てには必要で、正しい夫
婦としての接し方を子育て相談の内
容として教えている。

大田（札幌北）：子育てのためにも、
女性が社会に参画するためにも、男性
の職場や、薄野にいる時間が長すぎる
のが問題である。ここを変えて、夫婦
が家庭にいる時間が長くなれば、老
後に夫婦だけになった場合に困るこ
ともなくなるし、子育てにも女性の
社会参画にも役立つのではないかと
思う。

和田：その現実の中で、いかに夫が
家庭に目を向けてやるかということも
大事ではないか。

9、小林ガバナーからの講評



今日の話を聞きな
がら、次の3点が重
要であると思った。

一つは、人の話を
良く聞くことであ
る。子供であろうと

妻であろうと良く話を聞いてあげるこ
とである。

二つ目は、相手の人格、相手の立場
を認めることである。家内や子供は、
年下だからといって、従属物のよう
に見ないことである。

三つ目は、相手をほめる。心底ほめ
るには、相手を認めないと出来ない。
相手をほめることが大事である。

次期子ども奉仕委員会

次期委員長

米山道男

1. 地区での広報：地区チーム研修セミナー（3月2日）、札幌西RC（3月4日）、会長エレクト研修セミナー（3月15日）、札幌北RC（4月14日）、地区協議会（4月19日）で、設立の理由・目的・準備状況・計画概要を説明しました。
2. 委員の委嘱：地区全域に互って活動を展開することになるため、全ガバナー補佐に各グループから1名（第4および5グループは2名）の委員を推薦していただき、計14名の方に委員を委嘱しました。
3. 講義協力者のリスト作成：22名の方から協力者登録票を提出していただきました。
4. 学校側との連絡会開催：4月10日、札幌市立北辰中、北九条小、幌北小、白楊小、教頭全員を含む5名の先生方とお会いして、以下の方針を確認しました。(a) まず各校で授業参観日を設定し、講義協力者に子ども達の実態を見てもらう。(b) 5月16日に、学校側と講義協力者・次期子ども奉仕委員会委員との懇談会を開く。(c) その後、各校の年間計画に従い、各校の指名に応じて講義を実行する。
5. 委員会出席および開催：4月26日に地区社会奉仕委員会に出席します。6月20日に他の3委員会（地区社会奉仕委員会・地区家庭奉仕委員会・地区世界社会奉仕委員会）との合同委員会を開催します。

第2回

ワークショップの報告

友情交換委員会

委員長 金井重博

国別部会の設立をテーマとした第2回ワークショップが4月12日(土)に札幌パークホテルにて開催され、小林ガバナーをはじめ、国際交流に関心を持つ47名の方々のご参加をいただきました。会に先立って行われた参加者全員の自己紹介では、それぞれの方々との繋がりが思い入れなどが自らの体験を交えて紹介され、この国別部会に対する関心や期待が窺えました。開会の挨拶として青木国際奉仕委員長は、交流相手国に対する理解、その為の勉強の重要性を訴えられ、引き続き国別部会の提案者である米山地区幹事より部会の発想及び勉強・交流・支援という三つの柱についてご説明があった後、石垣・森本両PGから活動の考え方に対する意見が出されました。石垣PGからは、友情交換を継続させる為には対等・互恵的な関係を築くこと、その為には必ずしも対等とは言えない既存の交換事業を見直し新しい体制を考える必要があるとの指摘がなされ、さらに姉妹提携等を通じた地区対地区交流の実現、その交流の発展的な具体例としてエルダーホ

ステルについてのご提案がありました。森本PGも同様に継続の重要性を説かれ、個人に頼らないシステム作り、中心的な役割を担う人材の育成が必要とのご意見をいただきました。その後、部会設立における問題点として次のような事項が提起されました。

- ・相手国を熟知している人材がどれだけのいるのか、またそれぞれ職業を持っている中でどこまでやれるのか。国別部会を具体化する前に国際奉仕のあり方について考えるべき。
- ・家族連れで来る留学生には、コミュニティ内でのサポートも有効なのではないか。
- ・交流は確固とした理念をもって臨むべき。
- ・相手国をどう選ぶか。その国の発展度合いにより交流の仕方が異なってくる。
- ・部会参加者の間の意思疎通を図り、温度差を無くすべき。
- ・相手国の政治や文化を理解した上でしっかりとした考えを持ち、どの程度踏み込んだ交流をするのかということを決めておく必要がある。
- ・国別という名前にこだわらず、全体的なフレンドシップを表す名前はどうか。
- ・ロータリーとしてやるのに先進国・後進国というような区別は疑問。
- ・他の委員会とぶつからないようにポイントを絞るべき。

・国際親善奨学金委員会やその他の国際関連委員会では資金が果たして有効に利用されているのかという大きな問題を抱えている。それについて一度地区全体で討議して、国際交流のあり方、交流相手国を見直すべき。



今回のワークショップではこれらの提起された問題について討論する予定でしたが、時間の都合上中断せざるを得ず、十分な討議ができないという残念な結果となってしまいました。これについては最後に頂戴した講評の中で小林ガバナーも、今後討論を重ね深めることが必要と述べておられます。さらにガバナーからは、対等にこだわらず相手国の事情に配慮したフレキシブルな交流の可能性、ロータリーならではの、この地区ならではの独自性の模索というご提案をいただきました。そして最後に国別部会に対する期待を表明され、第2回ワークショップは終了いたしました。

第3回 ワークショップのご案内

ワークショップは、全員が、話題について意見を出して、より一層の理解を深めると共に有意義な意見を形成する集会であります。従いまして、はじめに参加者全員に自己紹介とテーマについての意見を2分以内の時間で発表していただきたいと思っております。その上で、いくつかのテーマに絞って更に議論を深めていきたいと思っております。自己紹介は、所属クラブと次期担当役員については、あらかじめプリントしておきますので、そのほかの職業、趣味などについてお願いします。参加者全員に家庭奉仕の大切であることを心底から理解していただけることを期待しています。

記

- 1、日時 5月9日 午後6時開始
(登録午後5時30分)
- 2、場所 函館国際ホテル
- 3、テーマ “日頃心がけている家庭奉仕”
“心がけたい家庭奉仕”
(家事、家族との共有体験、コミュニケーションなど何でも結構です)
- 4、演者 池上公介氏(池上学院学院長, 札幌モーニングRC)
土橋芳美氏(親業訓練インストラクター)
土橋信男氏(前札幌市教育長, 前北星大学学長, 札幌機南RC)
- 5、参加費 2,000円

第4回 ワークショップのご案内

北海道にもようやく春が巡ってきました今日この頃、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、国際ロータリー第2510地区ワークショップを以下の要領で開催いたします。

都会生活に慣れた私達がともすると見失いがちな、エネルギー問題を取り上げました。さて、どんな顛末になりますことやら。奮ってご参加の上、有意義なご意見をお聞かせ下さい。

会終了後北海道大学内レストラン「エンレイソウ」で懇親会を開催します。参加費は3,000円で、30名で打ち切りますので、参加希望者は、以下にご連絡下さい。

TEL 011-706-2241/FAX 011-716-4864 井上勝一 宛

記

- 1)開催日時:平成15年5月25日(日)
午後3時30分~6時
 - 2)開催場所:北海道大学学術交流会館小講堂
札幌市北区北8条西5丁目 TEL 011-716-2111
 - 3)総合タイトル:明日のエネルギー問題を考える
 - 4)演者:井上勝一(札幌北RC):都市化と健康
橋本信夫(札幌西RC):開発と破壊のはざまから
川田恵秀(白老RC):石油業界からみたエネルギー問題
村山正(札幌RC):新しいエネルギーとその使い方
 - 5)司会進行:山名善久(GSE委員会委員長)
井上勝一(GSE委員会委員)
 - 6)入場料:無料(定員 100名)
- 主催:国際ロータリー第2510地区幹事会・国際ロータリー第2510地区GSE委員会・北海道大学大学院地球環境科学研究科・エネルギー問題を考える会

米山記念奨学生紹介

2003年度



氏名	エルデネバートル・イテル
国籍	モンゴル
大学・課程学年	室蘭工大・修士2
専攻	情報工学
世話クラブ名	室蘭東



氏名	劉淑如
国籍	台湾
大学・課程学年	北大・博士2
専攻	歴史地域文化学
世話クラブ名	札幌手稲



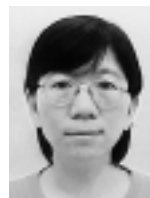
氏名	楊春
国籍	中国
大学・課程学年	北大・修士2
専攻	生物資源生産学
世話クラブ名	札幌モーニング



氏名	何新
国籍	中国
大学・課程学年	北大・博士3
専攻	医療薬学
世話クラブ名	札幌大通公園



氏名	朱琦
国籍	中国
大学・課程学年	北大・博士3
専攻	電子情報工学
世話クラブ名	札幌北



氏名	梁連文
国籍	台湾
大学・課程学年	北大・博士3
専攻	生物資源生産学
世話クラブ名	札幌西北



氏名	邱麗珍
国籍	台湾
大学・課程学年	北大・博士3
専攻	法学政治学
世話クラブ名	札幌真駒内



氏名	尹種秀
国籍	韓国
大学・課程学年	北大・博士3
専攻	環境資源工学
世話クラブ名	札幌セントラル



氏名	申東煥
国籍	韓国
大学・課程学年	北大・博士3
専攻	生命資源科学
世話クラブ名	函館五稜郭



氏名	金良俔
国籍	韓国
大学・課程学年	北大・博士2
専攻	国際広報メディア
世話クラブ名	札幌南



氏名	寛楠
国籍	中国
大学・課程学年	北大・医博4
専攻	高次診断治療学
世話クラブ名	札幌東



氏名	申雪寒
国籍	中国
大学・課程学年	北大・博士3
専攻	社会基盤工学
世話クラブ名	札幌はまなす



氏名	林永波
国籍	中国
大学・課程学年	北大・博士2
専攻	物質環境科学
世話クラブ名	札幌西



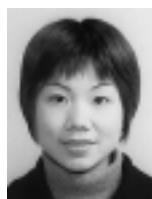
氏名	張曉華
国籍	中国
大学・課程学年	教育大・修士2
専攻	学校教育
世話クラブ名	新札幌



氏名	崔春蘭
国籍	中国
大学・課程学年	小樽商大・修士2
専攻	経営管理
世話クラブ名	小樽



氏名	譚丹丹
国籍	中国
大学・課程学年	札幌大・修士2
専攻	文化学
世話クラブ名	札幌清田



氏名	陳貞君
国籍	マレーシア
大学・課程学年	道工大・修士2
専攻	機械システム工学
世話クラブ名	札幌あけぼの



氏名	洪奈延
国籍	韓国
大学・課程学年	浅井学園大・修士2
専攻	人間福祉学
世話クラブ名	江別西



氏名	李英愛
国籍	韓国
大学・課程学年	学園大・博士3
専攻	日本文化
世話クラブ名	札幌幌南



氏名	王海燕
国籍	中国
大学・課程学年	北大・博士3
専攻	人間システム科学
世話クラブ名	札幌



氏名	李紅梅
国籍	中国
大学・課程学年	北大・医博4
専攻	生体機能学
世話クラブ名	札幌北

2003年度の地区米山奨学生は、本年2月2日に選考試験を行い、大学推薦による44名の応募者の中から18名の新規採用者を決定いたしました。これに前年よりの継続者3名を加えた合計21名が今年度の地区米山奨学生です。米山奨学事業は、ロータリーの理想とする国際親善と交流を深めるために、優秀な留学生を支援し、国際平和の創造と維持に貢献することを目的として日本のロータリアンが作り育てた国際奉仕プログラムです。

地区ロータリアン各位の暖かいご理解とご支援をお願いいたします。

アンケート調査の結果と分析 (第3回)

クラブ奉仕委員会

2002年9月にクラブ奉仕委員会が地区内3,484名の全会員を対象に実施した、アンケートの集計結果は『月信』2月号で、またその結果の分析は『月信』3月号並びに4月号で設問1から設問14までを報告済みですが、今月号は設問15「ロータリー情報の入手方法」から設問22の「行動を求めるロータリーとどのようにかかわりたいか」までを、地区全体及びグループ別の集計結果の特徴等について、若干の分析を加えて掲載致しました。

調査の概要

- | | | | |
|--------------|----------------------|------------|---------------|
| 1. 調査時期 |2002年9月 | 5. 調査主体 |クラブ奉仕委員会 |
| 2. 調査対象者 |3,484名 | 6. 調査結果の集計 |ガバナー事務所 |
| 3. 調査方法 |悉皆調査・配票調査 | 7. 調査結果の分析 |クラブ奉仕委員会 |
| 4. 有効回収票・回収率 |1,758名 (50.46%) | | |

(回答率)

質問	回答項目	グループ												
		地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
回答率	会員数	3,484	189	266	384	466	466	360	209	183	281	247	246	187
	回答者数	1,758	113	133	218	200	209	168	130	98	127	111	139	112
	回答率	50	60	50	57	43	45	47	62	54	45	45	57	60

◎アンケート調査時点の地区会員数3,484名に対し、回収回答者は1,758名の50%の回答率であり、アンケートの目的について徹底されなかったのか、第2710地区の会員数(3,982名)回答者(2,882名)回答率(72.4%)に比べるとかなり低いと言わざるを得ない。

◎グループ別の回答率は第7(62%)第1・12グループ(60%)と上位で、逆に第4(43%)第5・9・10グループ(45%)と低く、札幌・函館地区の都市型クラブの回答率が低く、地方クラブの回答率が高いという結果となって現れている。

15. ロータリー情報の入手方法

(上段：人数、下段：%)

ロータリーに対する考え	15. 情報の入手方法	例会	グループ												
			地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		情報誌など	1,389	81	108	174	159	159	134	100	74	104	92	117	87
			79	72	81	80	80	76	80	77	76	82	83	84	78
		十分得られていない	312	19	24	35	29	30	33	26	16	22	21	12	45
			18	17	18	16	15	14	20	20	16	17	19	9	40
			62	1	1	7	13	12	5	5	2	1	3	9	3
			4	1	1	3	7	6	3	4	2	1	3	6	3

◎例会による情報の取得が圧倒的に多く、全体の79%を占めている。反面ロータリーの友等の情報誌からの情報取得は18%と低く、情報誌があまり読まれていない状況が把握される。

◎地区内の12グループ別で見ても例会場による情報取得が平均化して多いが、11グループが例会場での情報取得が84%と地区平均より多く、情報誌等からは9%と地区内平均より低いことが特徴的である。

◎情報が十分得られていないはアンケート回答者のなかで62名(4%)おり、グループ別では第4(7%)第5・第11(6%)と都市型クラブ会員の中で情報が十分会員に伝えられていないという結果となっている。

16. ロータリーで得られた考え、習慣の他団体への応用

(上段：人数、下段：%)

ロータリーに対する考え	16. ロータリーで得た考え、習慣の他団体への応用	積極的に応用	グループ												
			地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		応用経験あり	226	11	17	32	23	26	22	13	8	12	36	11	15
			13	10	13	15	12	12	13	10	8	9	32	8	13
		応用経験なし	950	51	71	123	106	117	100	76	51	79	43	72	61
54	45		53	56	53	56	60	58	52	62	39	52	54		
			513	34	39	56	63	65	43	39	33	33	23	54	31
			29	30	29	26	32	31	26	30	34	26	21	39	28

◎ロータリーで得られた考え、習慣の他団体への応用について、地区内全体では積極的が13%・応用経験有りが54%で合計すると67%となり、何らかの形でロータリーの考え方を職場や団体に応用している事が読み取れる。しかし、29%の会員が応用経験なしと答えており、「綱領」「4つのテスト」等のロータリーの基本的な考え方をもっと広く多くの会員が応用することで、職場や団体がより良くなることが期待される。

◎グループ別の集計をみると積極的に応用と応用経験ありを合算すると第3・第9・第10グループが地区平均より高いことが読み取れる。

(上段：人数、下段：%)

17. 自分のクラブのまとまりは？

		グループ													
		地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
ロータリーに対する考え	17. 自分のクラブのまとまりは？	大変良い	741	36	60	90	76	120	69	53	33	72	36	54	42
			42	32	45	41	38	57	41	41	34	57	32	39	38
		まあまあ	895	60	67	111	100	83	91	74	57	49	68	77	58
	51		53	50	51	50	40	54	57	58	39	61	55	52	
	あまり良くない	70	1	2	9	24	5	3	2	3	4	3	6	8	
		4	1	2	4	12	2	2	2	3	3	3	4	7	

◎地区全体では大変よいが(42%) まあまあ(51%) あまり良くない(4%) となっている。グループの集計では第5・第9の(57%) が際立って良く、あまり良くないでは第4(12%) 第12(7%) が高い集計結果を示しており所属グループのクラブは再考を要す課題としてとらえるべきと思われる。

18. 楽しいクラブ例会か？

(上段：人数、下段：%)

ロータリーに対する考え	18. 楽しいクラブ例会か？	非常に楽しい	339	16	21	47	38	53	28	35	17	43	11	17	13
			19	14	16	22	19	25	17	27	17	34	10	12	12
		まあまあ	1,286	73	102	159	142	145	130	89	75	77	95	110	89
			73	65	77	73	71	69	77	68	77	61	86	79	79
		早く帰りたい	80	8	8	6	12	10	6	5	2	5	3	9	6
			5	7	6	3	6	5	4	4	2	4	3	6	5

◎非常に楽しいが19% まあまあが73%の両方で92%を占めているが、17の設問のクラブのまとまりが大変良いの42%との比較で非常に楽しいが19%と低い点が気にかかる。まとまりが良くてもクラブ例会の楽しさとは別と考えなければならないのか？

◎グループ別では非常に楽しいが第9グループの34%が最も高い比率で、第7(27%) 第5(25%) 第3(22%) グループが平均より高くなっている。まあまあはどのグループも平均化しているが、早く帰りたいは地区内会員の5%もおりクラブ例会に工夫が必要と思われる。

19. クラブの奉仕活動

(上段：人数、下段：%)

ロータリーに対する考え	19. クラブの奉仕活動	非常に活発	861	55	73	108	80	90	76	72	63	72	56	69	47
			49	49	55	50	40	43	45	55	64	57	50	50	42
		あまりしていない	764	41	50	94	103	111	70	55	29	48	48	64	51
			43	36	38	43	52	53	42	42	30	38	43	46	46

◎地区内全体の集計で非常に活発(49%) あまりしていない(43%) は、ロータリーの奉仕活動の低下傾向を示しているように思われる。グループ別の集計で非常に活発なグループは第8(64%) 第9(57%) 第2(55%) であり、逆にあまりしていないグループは第5(53%) 第4(52%) となっており、札幌市内クラブの奉仕活動が停滞気味の数字となって現れている。また、全体的に各委員会のみ奉仕活動に終始して、全員参加型の奉仕が少ない結果と受け取ることもできる。

20. 自分のクラブの寄付はどの程度だと思ふか？

(上段：人数、下段：%)

ロータリーに対する考え	20. 自分のクラブの寄付はどの程度だと思ふか	平均以上	706	57	74	70	95	128	47	55	32	36	27	44	41
			40	50	56	32	48	61	28	42	33	28	24	32	37
		ほぼ平均かそれ以下	677	32	40	107	54	47	79	47	41	64	58	59	49
			39	28	30	49	27	22	47	36	42	50	52	42	44
		知らない	302	7	13	34	40	33	28	26	20	25	24	35	17
			17	6	10	16	20	16	17	20	20	20	22	25	15

◎地区全体では平均以上と考えているのは40%であり、グループ別集計の中で50%を越えて平均以上と回答しているのは、第5(61%) 第2(56%) 第1(50%) の3グループである。


◎クラブの寄付状況が地区内のどの位置にあるかを知らないと答えた会員は、全体で17%あるが財団・米山に関わりを持たないと理解できないのが本音のような気がする。

◎ロータリー財団・米山奨学会への更なる啓蒙活動が必要と思われる。

5月12日 看護の日……

ナイチンゲールの誕生日

看護の心をみんなの心に



やさしい社会の実現を……

社団法人 北海道看護協会

21. 新会員に対するロータリー情報の提供は？

(上段：人数、下段：%)

	地区	グループ												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
21. 新会員に対するロータリー情報の提供は？	熱心	284	21	34	35	25	35	28	31	17	15	12	14	17
		16	19	26	16	13	17	17	24	17	12	11	10	15
	ある程度	1,137	60	81	143	127	145	103	80	69	91	72	90	76
		65	53	61	66	64	69	61	62	70	72	65	65	68
	あまり	278	16	14	36	39	26	33	17	7	19	23	32	16
		16	14	11	17	20	12	20	13	7	15	21	23	14

◎熱心に情報提供があるは16%で、またあまりないは同じ16%となっており、ある程度あるは65%である。グループ別では熱心に第2(26%)と第7(24%)の2グループが20%を越えており、あまり情報提供の少ないのは第11(23%)第4・第6(20%)の3グループである。

◎新会員に対するロータリー情報の提供は退会防止にも関係し、またロータリアンの質的向上にも寄与することと思われるので、クラブも地区も一体となり取り組むべき課題と思われる。

22. 理念に立脚した行動を求めるロータリーにどのように関わりたいか？

(上段：人数、下段：%)

	積極的に														
		1,300	75	104	160	146	152	127	102	73	95	80	102	84	
22. 行動を求めるロータリーへどのように関わりたいか	参加したくない	74	66	78	73	73	73	76	78	74	75	72	73	75	
		312	21	21	43	36	44	25	23	15	19	20	26	19	
		18	19	16	20	18	21	15	18	15	15	18	19	17	

◎積極的に関わりたいとの回答は、第2・第7グループの78%を筆頭にほとんどのグループが70%を越え、地区全体でも74%の高比率となっている。設問19のクラブの奉仕活動について問いに非常に活発49%・あまりしていない43%となっているが、関わりを持ちたいの高比率の回答から会員は何らかの形で行動をする意欲を持っていることが伺える。クラブのリーダーシップ次第によっては、ロータリー活動の活発化の下地が存在するのではないと思われる。



ⓕ **北海道消防機材株式会社**

〒060-0005 札幌市中央区北5西20
 TEL (代)011-611-1551 FAX 611-1556
<http://www.shobokizai.com/>

札幌西北ロータリークラブ
 八木忠雄
 (北大昭28旧卒)

創・業・55年!!
 昭和23年(一九四八年)消・防・法と共
 に生れ法・の改正強化の中、皆様方
 の御引立により今日に至りました。
 厚く御・礼・申・し・上・げ・ま・す。

ロータリー財団への寄付のお願い

ロータリー財団への2003年3月末の寄付状況は、年度初めに各クラブからお申し出いただきました「自主申告額」にたいして、年次寄付・使途指定

寄付・恒久基金寄付を合わせた「寄付実績額」は下記の表の通りであります。本年度もあと2カ月を残すのみとなり、地区全体の達成率は64%と非常に厳しい状況です。今一度ご理解をいただきご協力の程お願い致します。

国際ロータリー第2510地区
ガバナー
ロータリー財団委員会 委員長
財団増進委員会 委員長
小林 博
森本正夫
若狭吉範

ロータリー財団寄付 クラブ別自主申告額と寄付実績額

2003年3月31日現在 (単位: ドル)

グループ	クラブ名	会員数	自主申告額 (A)	寄付実績額合計 (B)	達成率 (B/A)	寄付額内訳			グループ	クラブ名	会員数	自主申告額 (A)	寄付実績額合計 (B)	達成率 (B/A)	寄付額内訳			
						年次寄付	使途指定寄付	恒久基金寄付							年次寄付	使途指定寄付	恒久基金寄付	
1	深川	43	5,100	9,748.58	191%	9,748.58	0.00	0.00	7	千歳	76	5,500	5,600.00	102%	5,600.00	0.00	0.00	
	羽幌	48	2,400	2,900.00	121%	2,900.00	0.00	0.00		千歳セントラル	35	2,600	2,740.00	105%	2,740.00	0.00	0.00	
	妹背牛	11	1,200	1,200.00	100%	1,200.00	0.00	0.00		恵庭	48	3,600	0.00	0%	0.00	0.00	0.00	
	小平	16	1,300	1,300.00	100%	1,300.00	0.00	0.00		北広島	15	1,000	0.00	0%	0.00	0.00	0.00	
	留萌	65	5,900	4,790.00	81%	3,990.00	800.00	0.00		長沼	18	2,400	0.00	0%	0.00	0.00	0.00	
	小計	183	15,900	19,938.58	125%	19,138.58	800.00	0.00		由仁	18	1,800	1,500.00	83%	1,500.00	0.00	0.00	
2	赤平	37	1,800	2,927.05	163%	2,927.05	0.00	0.00	8	小計	210	16,900	9,840.00	58%	9,840.00	0.00	0.00	
	芦別	57	5,800	1,500.00	26%	1,500.00	0.00	0.00		えりも	27	1,700	1,700.00	100%	1,700.00	0.00	0.00	
	砂川	58	4,100	1,900.00	46%	1,900.00	0.00	0.00		三石	19	2,000	2,000.00	100%	2,000.00	0.00	0.00	
	滝川	114	8,500	8,050.00	95%	7,050.00	0.00	1,000.00		様似	23	2,000	2,000.00	100%	2,000.00	0.00	0.00	
	小計	266	20,200	14,377.05	71%	13,377.05	0.00	1,000.00		静内	67	5,500	6,004.00	109%	6,004.00	0.00	0.00	
3	美唄	47	2,500	1,800.00	72%	1,800.00	0.00	0.00	9	浦河	40	2,500	1,278.69	51%	1,278.69	0.00	0.00	
	江別	48	5,500	1,550.00	28%	1,550.00	0.00	0.00		小計	176	13,700	12,982.69	95%	12,982.69	0.00	0.00	
	江別西	41	4,300	200.00	5%	200.00	0.00	0.00		伊達	56	5,600	3,920.00	70%	3,920.00	0.00	0.00	
	岩見沢	102	8,000	1,803.85	23%	1,803.85	0.00	0.00		室蘭	62	2,800	2,560.00	91%	2,560.00	0.00	0.00	
	岩見沢東	34	3,400	1,468.00	43%	1,043.00	425.00	0.00		室蘭東	53	5,700	700.00	12%	700.00	0.00	0.00	
	栗沢	33	3,500	3,800.00	109%	3,800.00	0.00	0.00		室蘭北	51	5,200	0.00	0%	0.00	0.00	0.00	
	栗山	33	3,500	416.66	12%	0.00	416.66	0.00		登別	40	4,000	2,940.00	74%	2,940.00	0.00	0.00	
	小計	384	35,200	14,815.66	42%	13,974.00	841.66	0.00		洞爺湖	13	700	0.00	0%	0.00	0.00	0.00	
4	札幌	121	10,000	11,995.00	120%	6,995.00	5,000.00	0.00	10	小計	275	24,000	10,120.00	42%	10,120.00	0.00	0.00	
	札幌あけほ	18	1,700	700.00	41%	700.00	0.00	0.00		函館	100	6,300	1,424.00	23%	1,424.00	0.00	0.00	
	札幌はまなす	29	3,000	2,000.00	67%	2,000.00	0.00	0.00		函館亀田	52	2,700	400.00	15%	400.00	0.00	0.00	
	札幌北	57	6,100	13,997.39	229%	10,997.39	2,000.00	1,000.00		森	49	3,400	2,000.00	59%	2,000.00	0.00	0.00	
	札幌モーニング	61	5,000	2,030.00	41%	2,030.00	0.00	0.00		七飯	32	2,600	2,475.00	95%	2,475.00	0.00	0.00	
	札幌西	76	5,700	0.00	0%	0.00	0.00	0.00		長万部	12	750	550.00	73%	550.00	0.00	0.00	
	札幌西北	53	5,800	6,324.89	109%	4,924.89	1,400.00	0.00		小計	245	15,750	6,849.00	43%	6,849.00	0.00	0.00	
	札幌手稲	49	5,900	2,209.84	37%	1,209.84	0.00	1,000.00			江差	20	1,300	1,050.00	81%	1,050.00	0.00	0.00
	小計	464	43,200	39,257.12	91%	28,857.12	8,400.00	2,000.00		函館五稜郭	69	5,100	671.00	13%	671.00	0.00	0.00	
5	札幌東	122	13,000	5,744.96	44%	5,744.96	0.00	0.00	11	函館東	65	4,200	5,632.00	134%	3,132.00	0.00	2,500.00	
	札幌清田	27	2,800	300.00	11%	300.00	0.00	0.00		函館北	47	3,700	1,046.00	28%	1,046.00	0.00	0.00	
	札幌幌南	84	7,500	4,413.33	59%	4,413.33	0.00	0.00		上磯	34	2,400	0.00	0%	0.00	0.00	0.00	
	札幌真駒内	48	5,000	2,505.00	50%	2,505.00	0.00	0.00		松前	9	400	400.00	100%	400.00	0.00	0.00	
	札幌南	95	10,000	8,094.00	81%	8,094.00	0.00	0.00		小計	244	17,100	8,799.00	51%	6,299.00	0.00	2,500.00	
	新札幌	41	4,500	2,000.00	44%	2,000.00	0.00	0.00		白老	35	1,500	0.00	0%	0.00	0.00	0.00	
	札幌大通公園	18	0	720.00	—	720.00	0.00	0.00			苫小牧	62	5,000	3,659.24	73%	3,659.24	0.00	0.00
	小計	456	42,800	23,777.29	56%	23,777.29	0.00	0.00		苫小牧東	34	3,500	619.90	18%	619.90	0.00	0.00	
6	岩内	37	2,200	1,000.00	45%	1,000.00	0.00	0.00	12	苫小牧北	50	5,500	3,116.66	57%	3,116.66	0.00	0.00	
	倶知安	53	2,100	2,172.13	103%	2,172.13	0.00	0.00		小計	181	15,500	7,395.80	48%	7,395.80	0.00	0.00	
	小樽	91	6,000	0.00	0%	0.00	0.00	0.00			その他(地区)	—	—	0.03	—	0.03	0.00	0.00
	小樽南	88	6,200	6,500.00	105%	6,500.00	0.00	0.00			合計	3,439	284,650	180,824.35	64%	165,282.69	10,041.66	5,500.00
	小樽銭函	20	1,400	1,400.00	100%	1,400.00	0.00	0.00										
	蘭越	18	1,600	1,600.00	100%	1,600.00	0.00	0.00										
	余市	48	4,900	0.00	0%	0.00	0.00	0.00										
	小計	355	24,400	12,672.13	52%	12,672.13	0.00	0.00										

クラブ活動 紹介

ホワイトダックスの誕生

若山 直 (函館RC)

現在、函館クラブは「京都洛中ロータリークラブ」と姉妹クラブとなっているが、この話が持ち上がって姉妹提携打診のため、洛中クラブを訪問した函館クラブ会員は痛くカルチャーショックを受けた。

洛中には合唱団があり、おもてなしの会でその美声を披露してくれたのである。帰路、車中で函館メンバーは大いに盛り上がり、さっそく田中修市会員（函館おおてまち病院院長）を団長として、合唱団を結成することとし、有志を募った。

歌の指導は、市民オペラで美声が実証されている鈴木比都美（すずきひとみ）先生、ピアノ伴奏は島本久美子先生に決定した。練習会場は函館クラブ例会場である五島軒本店とし、部屋が空いている場合、無料で借りることになった。私も審査にパスして団員兼会場掛兼連絡掛として加わった。1991年夏と記憶している。

当クラブは翌年、「第2510地区 地区大会」の開催ホストクラブに決定しており、その大会でレビューすることを目標とした。団員18名により本格的な練習が開始された。合唱団の名前は、ダークダックスよりは白髪の会員が多かったため、ホワイトダックスに決定された。

1992（平成4）年4月23日、函館市民会館大ホールで「地区大会」が開催され、午前中の式典の後の「休憩時間」に、「ホワイトダックス」は初めて公衆の面前でコーラスを披露した。正直、会員の大半はお弁当を食べるのに夢中で、熱心に聴いていただいた記憶はな

いが、初デビューとしては上々のできだったと自負している。



函館ロータリークラブのホワイトダックス

以来、2003（平成15）年の現在まで、函館クラブのクリスマス家族会では恒例の出し物となった。旭ガ岡老人ホーム慰問なども行って来た。

特記できることは、京都洛中クラブが主幹して呼びかけ、開催が決定した「全日本ロータリークラブ親睦合唱祭」に、姉妹クラブのよしみで1995年第1回大会から欠かさず参加していることである。3年前には函館大会も開催でき、楽しい思い出を作ることができた。

本年は5月に広島で第9回の合唱祭が開催されるため、団員一同、毎週月曜夜7時～9時の練習に余念がない。ちなみに、今回の曲は「大きな古時計」「かごに乗って」「世界に一つだけの花」3曲である。25ものクラブがエントリーするので持ち歌は3つに限定されている。毎年、どのクラブがどんな成長を見せてくれるかが楽しみだし、終了した後の懇親会での大合唱は全員参加の素晴らしいものである。

日本は130年前に鎖国から明治の文明開化をへて欧米文化を吸収してきた。ロータリー活動もその一つであり、我々ロータリアンはロータリー活動を通じて、良くも悪くもアメリカ文化の神髄に触れることができる。ホワイトダックスで合唱をしていると、なぜ「コーラス」という文化が、ついに日本古来の伝統からは誕生しなかったか、が体得できるように思う。合唱は、なにより他人の歌う声と、自分の声の一つにしなれば形にならない。自己主張とハーモニー。その微妙なバランスを保った時にのみ、合唱は成功する。これは日々のロータリー活動にも通じることではないかと私は思っている。

〈行きたくないけど、行ってみたい所〉 矯正施設への見学

幹事 久住八郎 (栗山RC)

春のふきのとうが南の斜面に顔を見せる、陽気の3月25日、栗山ロータリークラブのメンバー24名と保護司星野貞夫さんの計25名を乗せたバスが栗山から月形へ向かいました。栗山町で矯正施設の誘致運動が盛り上がり、メンバーから矯正施設について勉強したいとの雰囲気が強くなり、職業奉仕委員長今井敏明会員が先頭に立ち、まず月形刑務所を視察したらという意見に決まりました。しかし、視察の手順がわからないため、役場に相談したところ保護司を紹介され、保護司の星野貞夫さんの努力で視察が承諾され、矯正施設参加者名簿も出来て日程も決まり、視察となりました。午後1時20分、予定通りに月形刑務所前に到着し、門に設置されている電話で連絡すると中から刑務官が出てきて「ご苦労さんです」と迎え入れてくれました。さっそくパンフレットが手渡され、談話室に案内され、そこで簡単な説明があり、その場所にたばこ・携帯電話・カメラを置いて刑務官に案内され面接室へ。思ったよりも狭く、ストーブが設置してありましたが寒い感じがし



ました。それから奥へ、ひとつめのドアの鍵を刑務官が開けて進むとまたドア、刑務官が鍵を開けてまた奥へ。「ここからは社会と隔離された場所になります」との説明があり、更に奥へ進み受刑者の共同室、単独室、半開放室と案内され、5人の部屋に6人の収容では狭い感じを受けました。そのあと、食事のサンプルを見

て、この食事なら糖尿病も治るとの
声が聞こえました。お風呂も見学し
ましたが、15分の入浴との説明後、
作業所で作業の様子を見ることが出
来ました。刑務官の丁寧な説明、案
内に感心して談話室へ戻り、刑務官
からのパンフレットの説明、その後
会員からの質問も多く出され、熱心
な勉強ぶりを感じました。帰りには、
刑務官の方々が門まで見送ってくだ
さいました。あとで聞いた話ですが、
刑務所内の視察はなかなか出来ない
そうです。これも保護司の協力とロ
ータリーへの信用があるからだよと
聞かされ、ロータリーへの信用はす
ごいなあと感心しました。

「あれこれなんでも 無料相談室」大盛況

寄木清二（室蘭東RC）

室蘭東ロータリークラブ（前田康博
会長）の初の「あれこれなんでも相談
室」が2月15日、室蘭市輪西町のぶら
っと・てついちで開催されました。専
門家の助言を求めて、約160人の市民
が相談に訪れ会員、関係者を驚かせた。
相談は債務、相続不動産、家庭相談、
医療介護、年金など多岐にわたり「相
談を受けたい人がたくさんいる」こと
があらためて印象付けられました。



午後1時の開始前からロビーには50
人以上の市民が待機、急きょ30分繰り
上げてスタートしました。その後も
次々と相談者が訪れ、受付時に記入す
る申込用紙が足りなくなって担当者が
コピー機に向かっていて、また終了時
間も1時間延ばす状態でした。



同クラブのメンバーの弁護士、司
法書士、税理士、医師、看護師、建築
士、大学教授、高校長、建設、食品な
ど各分野のエキスパートが対応した
が、法律関係の相談が多かったため、
弁護士や司法書士の窓口は順番待ちの
市民が絶えなかった。相談内容は、離
婚問題と多重債務が全体の6割を占め、
年金、不動産の贈与・相続、健康、介
護などが続いた。医療は循環器科、眼
科、外科、内科、泌尿器科などを専門
とする医師、約10人が待機、スタッフ
は看護師さながら、内容に応じて専門
の医師に相談者を案内しました。

身長や体重、血圧、心拍数など測
定コーナーや肺活量、握力、背筋力の
体験コーナーは、健康をチェックする
市民が立ち寄っていました。

事前の広告が足りませんでした、
多種多様な問題や日常生活での安心や
安全、そして心構えなど、関心をもた
れている多くの市民の皆様が、相談に
来られたと感じました。

今後もクラブ会員が多種多彩なそ
れぞれの職業を通じて、実際の行動と
共に身を持って汗をかき、社会に奉仕
する団体であり得るようさらなる努力
が必要と思いました。



今後も当ロータリークラブ運営に
対して、ご関係のみなさまのご協力を
賜ります様お願い申し上げます。

創立20周年記念事業

坂田知樹（岩見沢東RC）



今年度、岩見沢東RCは20周年を迎
え、5月17日には創立20周年記念式典
を挙ります。岩見沢東RCは記念事
業として5つの事業を行います。1. 岩
見沢特別養護施設「光が丘学園」へ寄
付 2. 岩見沢市青少年健全育成基金
へ寄付 3. 岩見沢東RC杯争奪少年サ
ッカー大会へ大会用テント寄贈 4.
国際ロータリー2510地区世界社会奉仕
委員会（WCS）事業との連携による
寄付等への記念事業へ150万円を用意
しました。地区世界社会奉仕委員会
（WCS）との連携による事業は、タイ
（バンコク）のパベナ基金への支援と
カナダ（7101地区）の車椅子寄付プロ
ジェクトの2つの事業を行います。4月
4日バンコクのPAVENA FOUNDATION
FOR CHILDREN AND WOMENの事務局
のある施設を訪れパベナ基金の寄贈式
を行いました。ガバナー月信12月号の
地区活動紹介の中に和田地区家庭奉仕
委員長が訪問した時の文面にあります
ようにパベナ基金は、父親から虐待さ
れている児童や、人身売買で苦しんで
いる少女、家庭内暴力で悲惨な状態
になっている妻などを救済する活動
です。



土倉裕之2510地区WCS委員長のお
力添えをいただきながら現地事務所と
アポイントをとり、パベナさんとお会
いすることが出来ました。パベナさん
は政府の公職にも就いておられ、大変

お忙しい中、我々の訪問を暖かく迎えていただきました。また、この話をお聞きになったDONMUANG ROTARY CLUBのVICE PRESIDENTのSUVIT KITTITATANONT（スピットさん）が駆けつけてくれ、寄贈式に花を添えていただきました。パベナさんから今までの活動の写真をを見せていただきました。我々が事務所に3時間ほどいる間にも4人ほどの相談者が来ておりました。現在、パベナ基金の施設は数箇所に分かれているため十分な対応が出来ないそうです。また政府から毎年援助をいただいておりますが、活動資金はまだまだ必要だそうです。最近、タイのみならず隣国からの相談も受けているようです。将来的には施設をひとつにまとめていきたいとおっしゃっていました。また、2510地区のWCS事業のひとつにパベナ基金への支援を取り上げていることを非常に感謝していらっしゃいました。今回、現地を訪れ、今年度のRIテーマ「SOW THE SEEDS OF LOVE」の意味をもう一度考える時間を持つことができた喜びに感謝したいと思います。帰りに施設の子供達から手作りのプレゼントをいただき、再会を誓って……。

留萌RCで 巡査部長が奉仕活動

澤田 茂（留萌RC）

当クラブは4月9日夜間例会で、ゲストを迎えてプログラム「そば打ち」体験が行われた。

ゲストは、隣町、増毛町舎熊駐在



所佐藤吉廣巡査部長で、佐藤氏は「そば打ち」が趣味で現在は、そば打ち3段位で休暇を利用して各施設で奉仕活動をしておられます。

当夜は会員65名に約100食のそばを打ち極意の技を披露していただき、さらに初心者向けの実技指導も受けた。

新入学児童に交通安全 ランドセルカバーを贈呈

新世代委員会（えりもRC）

当クラブでは、1975年から新入学児童を対象に交通事故から守る啓発活動の一環として「交通安全ランドセルカバー」を贈呈している。

今年度も町教育委員会を通して、町内各小学校の新入学児童33人にランドセルカバーを贈った。

カバーはビニール製でサイズは

25×40cm。デザインは下地全体が蛍光の黄色で、その中に濃紺の枠組みがあり、男女児童の上半身の姿と「こうつうあんぜん」と黄色で記入され、下段にえりもロータリークラブの文字が入っている。

町民からは、黄色のランドセルを背負った姿は遠くからでも新一年生と分かり、横断歩道などでは、特に注意して運転するので事故防止に非常に役立っていると好評を得ている。

また、保護者からも、このカバーを付けていることにより、安心して通学させることができると感謝されている。



ロシア部会設立準備会開催のお知らせ

友情交換委員会委員長 金井 重博
ロシア部会設立準備会世話人代表 長谷川久夫

当友情交換委員会は、地区活動の一つとして、国別に分かれて友情交換活動をする「国別部会」を提案し準備を進めてきました。国別部会に関して、去る3月7日には懇談会（ガバナー月信4月号19頁参照）、4月12日にはワークショップ（ガバナー月信5月号13頁参照）を開催しました。

この国別部会の第1号として、ロシア部会が提案され、下記の通り集まりを開催することになりましたので、ぜひ多くの会員の皆様に参加していただきたく御案内申し上げます。

参加申込みは、いずれも、長谷川久夫事務所あてにFAX（011-512-1151）でお願い致します。

—— 記 ——

1. 懇談会

日 時：2003年5月6日（火）午後6時～8時
場 所：札幌グランドホテル こまくさの間（別館4階）
来 賓：ロシア共和国駐札幌総領事ワシリー・サプリン氏
会 費：2,000円（食事代その他） 申込期限：2003年5月4日（日）

2. 勉強会

日 時：2003年5月20日（火）午後6時～8時
場 所：札幌パークホテル パールルーム（2階）
講 師：エカテリーナ・ゴドワロワさん（北大大学院文学研究科学生）
演 題：サハリンの現状
会 費：2,500円（食事代その他） 申込期限：2003年5月16日（金）

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます。

(2003年3月末現在)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー		ポール・ハリス・フェロー	
渡辺哲則会員 (札幌手稲RC) (1) 6月25日	横岡孝一会員 (函館東RC) (1) 2月14日	高橋慶一会員 (深川RC) 12月12日	岡島 章会員 (小樽南RC) 12月27日
城木浩一会員 (札幌北RC) (2) 12月13日	柳引克弘会員 (羽幌RC) (1) 2月21日	小島安彦会員 (三石RC) 12月20日	高橋政美会員 (小樽南RC) 12月27日
三上直彦会員 (札幌西北RC) (2) 12月20日	茶谷恵一会員 (羽幌RC) (1) 2月21日	河内栄子会員 (滝川RC) 12月26日	坪井純司会員 (小樽南RC) 12月27日
八木忠雄会員 (札幌西北RC) (1) 12月20日	榊原昭夫会員 (羽幌RC) (1) 2月21日	川原弘嗣会員 (滝川RC) 12月26日	上野正之会員 (小樽南RC) 12月27日
佐藤秀雄会員 (千歳RC) (1) 12月27日	吉川達也会員 (函館東RC) (1) 2月28日	浅沼廣幸会員 (千歳RC) 12月27日	山吹啓之会員 (小樽南RC) 12月27日
福田武男会員 (千歳RC) (1) 12月27日	小泉護太郎会員 (函館東RC) (3) 2月28日	藤崎正敏会員 (千歳RC) 12月27日	國枝良吉会員 (札幌南RC) 12月27日
本田正一会員 (栗沢RC) (2) 12月27日	井野 智会員 (札幌中心RC) (2) 2月28日	藤本敏廣会員 (千歳RC) 12月27日	高島敏子会員 (札幌南RC) 12月27日
福島正紘会員 (小樽南RC) (1) 12月27日	南原康二会員 (札幌東RC) (1) 3月 7日	稲董丸真会員 (栗沢RC) 12月27日	梅田鉄夫会員 (新札幌RC) 1月31日
斎田義孝会員 (小樽南RC) (1) 12月27日	藤永貞治会員 (赤平RC) (1) 3月14日	川幡 直会員 (栗沢RC) 12月27日	宮川昭一会員 (森RC) 2月21日
森本 一会員 (留萌RC) (1) 12月27日	渡部芳巳会員 (赤平RC) (1) 3月14日	金山英昭会員 (栗沢RC) 12月27日	門脇雅夫会員 (函館東RC) 2月28日
森本正夫会員 (札幌西北RC) (5) 12月27日	小林弘明会員 (岩見沢RC) (2) 3月20日	河合 明会員 (栗沢RC) 12月27日	早坂文雄会員 (赤平RC) 3月14日
砺波 寿会員 (札幌南RC) (1) 12月27日	佐藤 伸会員 (札幌南RC) (1) 3月20日	高野正光会員 (栗沢RC) 12月27日	宇戸啓隆会員 (赤平RC) 3月14日
石上源應会員 (小樽南RC) (1) 1月27日	福山恵太郎会員 (札幌南RC) (3) 3月20日	宮森 裕会員 (栗沢RC) 12月27日	芝垣美男会員 (室蘭東RC) 3月20日
小安土達郎会員 (函館東RC) (2) 2月 5日	島津宏興会員 (札幌南RC) (1) 3月20日	新井隆次郎会員 (小樽南RC) 12月27日	庄司 弘会員 (由仁RC) 3月20日
森元 浩会員 (函館東RC) (1) 2月14日		加藤正幸会員 (小樽南RC) 12月27日	

掲示板

例会変更

留萌RC	5月 7日(水) 休会*
芦別RC	5月 2日(金) 休会*
滝川RC	5月15日(木)→5月11日(日)に振替 「観桜会(家族同伴)」12:30~滝の川公園
美唄RC	5月 8日(木) 夜間例会18:30~ 5月29日(木) 創立記念休会
江別西RC	5月 6日(火)→5月 8日(木)に振替 江別RCとの「合同例会」12:00~, 江別市民会館 37号室
岩見沢RC	5月23日(金)→5月17日(土) 「岩見沢東RC創立20周年式典」に振替 15:00~, 平安閣 5月30日(金)「題名のない夜間例会」18:00~
岩見沢東RC	5月20日(火)→5月17日(土)に振替 「創立20周年記念式典」15:00~岩見沢平安閣
当別RC	5月20日(火)「観桜会」18:00~
岩内RC	5月 1日(木) 休会*
小樽RC	5月13日(火)「職場訪問例会」12:30~, 小樽ヒルトンホテル
小樽南RC	5月 2日(金) 休会* 5月16日(金) 休会*
余市RC	5月 7日(水)「お花見例会」18:30~, ホテル水明閣 5月14日(水) 例会場変更 5月21日(水) 余市経済センター (TEL 0135-23-2116) 5月28日(水)
白老RC	5月 7日(水)
苫小牧RC	5月16日(金) 5月12日(月)に振替
苫小牧東RC	5月15日(木) 「第12グループ4クラブ合同例会」
苫小牧北RC	5月13日(火) 18:00~, 苫小牧グランドホテルニュー王子
白老RC	5月14日(水)「夫婦同伴例会 お花見」18:00~, 白老八幡神社
苫小牧東RC	5月 1日(木) 休会*

注) * 定款第5条第1節に基づく休会

訃報

池内泰文 会員
(札幌西北RC)
平成15年1月8日
ご逝去 (享年60歳)



《ロータリー歴》
1989年7月6日 入会
1993~94年 職業奉仕委員長
1994~95年 会員増強委員長
1998~99年 社会奉仕委員長

訃報

佐々木昭一 会員
(札幌西北RC)
平成15年2月10日
ご逝去 (享年60歳)



《ロータリー歴》
1995年2月2日 入会
1997~98年 出席委員長
2000~01年 社会奉仕委員長

事務所だより

- 各クラブに届いているブリスベン国際大会の信任状及び代議員カードについて; クラブからの代議員がいない場合は、ガバナーが代理者となりますので会長・幹事の署名のうえガバナー事務所までお送り下さい。
- 毎月の会員数および出席率の報告は、最終例会終了後15日以内です。期日の厳守をお願い致します。
- 月信への原稿をお寄せ下さい。特にクラブ活動、会員の声へのご投稿をお待ち致します。投稿の際には、スナップ写真は添えてください。
- 5月のロータリーレートは、122円です。

国際ロータリー第2510地区

2002-2003年度 ガバナー月信

発行人 2002-2003年度ガバナー 小林 博
 発行元 国際ロータリー第2510地区
 2002-2003年度ガバナー事務所
 発行日 毎月1日発行 年12回
 編集委員 ◎竹原 巖 (地区幹事) 大田すみ子 (地区幹事)
 熊谷 満 (地区幹事) 脇田 稔 (地区幹事)
 アドバイザー 米山 道男 (地区幹事) 松本 新 (アイワード)
 事務局 札幌市中央区大通西6丁目 北海道医師会館6F
 TEL 011-219-2510 FAX 011-222-1526 E-mail scs-hk@phoenix-c.or.jp
 印刷: (株)アイワード TEL241-9341

3月会員増減数・出席率報告

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率	
			02.7.1	03.3.31	増減	内女性		
1	川	4	46	43	-3	2	89.77	
	帆	4	47	48	1	1	67.70	
	妹	4	12	11	-1	0	75.00	
	小	3	15	16	1	1	70.59	
	留	3	69	65	-4	0	91.26	
小	計		189	183	-6	4	78.86	
2	赤	4	37	37	0	1	85.13	
	声	3	60	57	-3	0	95.66	
	砂	4	61	58	-3	0	93.80	
	滝	4	108	114	6	2	72.00	
	小	計		266	266	0	3	86.65
3	美	4	48	47	-1	0	82.38	
	江	3	50	48	-2	2	89.99	
	江	4	41	41	0	3	89.73	
	岩	3	97	102	5	0	88.22	
	岩	4	33	34	1	3	87.48	
4	礼	3	35	33	-2	2	89.84	
	礼	4	34	33	-1	2	97.92	
	当	4	46	46	0	0	89.36	
	小	計		384	384	0	12	89.37
	小	礼	4	120	121	1	0	98.57
5	礼	3	19	18	-1	1	100.00	
	礼	4	29	29	0	4	74.14	
	礼	5	58	57	-1	6	87.86	
	礼	3	61	61	0	0	76.19	
	礼	4	75	76	1	2	91.93	
6	礼	4	52	53	1	2	88.31	
	礼	4	52	49	-3	0	97.45	
	小	計		466	464	-2	15	89.31
	礼	4	123	122	-1	0	98.21	
	礼	3	26	27	1	5	95.05	
7	礼	3	88	84	-4	0	100.00	
	礼	4	50	48	-2	3	95.46	
	礼	5	97	95	-2	0	97.38	
	新	4	42	41	-1	1	96.75	
	礼	4	17	18	1	4	77.94	
8	礼	4	0	21	21	6	89.00	
	小	計		443	456	13	19	93.72
	岩	3	37	37	0	0	74.20	
	俱	4	54	53	-1	4	81.00	
	小	4	96	91	-5	0	91.78	
9	小	3	86	88	2	0	84.15	
	小	4	20	20	0	2	86.25	
	小	4	18	18	0	0	71.87	
	余	4	49	48	-1	4	87.97	
	小	計		360	355	-5	10	82.46

クラブ数 72クラブ
 期首会員数 3,458人
 当月末会員数(女性) 3,439(97)人
 増加会員数 -19人
 当月平均出席率 82.95%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率	
			02.7.1	03.3.31	増減	内女性		
7	千	3	74	76	2	2	90.30	
	千	4	33	35	2	0	84.30	
	恵	4	50	48	-2	0	25.49	
	北	4	16	15	-1	2	92.86	
	長	4	18	18	0	4	72.20	
8	由	3	18	18	0	1	90.74	
	小	計		209	210	1	9	75.98
	え	4	27	27	0	0	79.63	
	三	5	20	19	-1	1	93.68	
	棟	4	24	23	-1	2	93.18	
9	静	4	68	67	-1	0	89.89	
	浦	4	41	40	-1	1	87.65	
	小	計		180	176	-4	4	88.81
	伊	4	53	56	3	0	80.35	
	室	4	66	62	-4	0	71.23	
10	室	4	56	53	-3	1	95.83	
	室	4	52	51	-1	2	77.95	
	登	4	40	40	0	2	85.00	
	洞	3	14	13	-1	0	85.00	
	小	計		281	275	-6	5	82.56
11	函	4	101	100	-1	0	76.71	
	函	5	51	52	1	1	75.69	
	森	4	51	49	-2	0	71.00	
	七	4	33	32	-1	0	81.00	
	小	計		247	245	-2	1	75.35
12	江	4	20	20	0	0	62.50	
	函	3	71	69	-2	0	81.29	
	函	4	67	65	-2	5	74.58	
	函	4	46	47	1	0	75.42	
	上	3	34	34	0	3	64.70	
13	松	4	8	9	1	1	67.00	
	小	計		246	244	-2	9	70.92
	白	4	34	35	1	1	80.00	
	吉	3	68	62	-6	0	82.41	
	吉	4	33	34	1	3	78.22	
14	吉	3	52	50	-2	2	84.99	
	小	計		187	181	-6	6	81.41
	合	計		3,458	3,439	-19	97	82.95

5・6月地区カレンダー

5月		6月	
日	曜日	日	曜日
1	木	1	日
2	金	2	月
3	土	3	火
4	日	4	水
5	月	5	木
6	火	6	金
8	木	7	土
9	金	8	日
10	土	9	月
11	日	10	火
12	月	11	水
13	火	12	木
14	水	13	金
15	木	14	土
16	金	15	日
17	土	16	月
18	日	17	火
19	月	18	水
20	火	19	木
21	水	20	金
22	木	21	土
24	土	22	日
25	日	23	月
26	月	24	火
27	火	25	水
28	水	26	木
29	木	27	金
30	金	28	土
31	土	29	日
		30	月

5月行事

- 臨時諮問委員会(札幌グランドホテル、18:00~)
- 第3回ワークショップ(函館国際ホテル、18:00~)
- 美唄RC30周年式典美唄スエヒロ(14:30式典 16:30懇親会)
- 米山学友会お花見(朝里宏楽園)
- 第12グループ合同例会(苫小牧ニュー王子、18:00~)
- 岩見沢東RC20周年記念式典(岩見沢平安閣、15:00~)
- 友情交換委員会「ロシア部会」勉強会(パークホテル、18:00~)
- 長沼町国際フェスティバル 米山奨学生オリエンテーション
- 第1・2グループPM(赤平市民会館、13:00~)
- ローターアクト北海道大会(旭川パレスホテル、14:30~)
- 第4回ワークショップ(北大学術交流会館、15:30~)
- プリズベン国際大会、北海道ナイトパートI
- 第30回ローターアクト地区大会(キング・ムー、16:00~)

6月 ローター親睦活動月間

行事

- 第94回国際ロータリー年次大会(オーストラリア、プリズベン)
- 日本人朝食会、北海道ナイトパートII
- 札幌モーニングRC15周年記念式典(ホテル日航札幌、18:00~)
- 第4回ガバナー諮問委員会(札幌グランドホテル、18:00~)
- 社会奉仕関連合同委員会(鮎栄 16:00~)
- ガバナー補佐会議(札幌アспенホテル、15:00~)
- 第13回ロータリー親睦ゴルフ北海道大会札幌ゴルフコース輪厚コース)
- 2004-05年度R財団奨学生面接選考試験(詳細未定)
- 第5回ワークショップ(洞爺湖万世閣、14:00~)
- 国際親善奨学生派遣壮行会(場所未定、18:00~)



ロータリー会員地域紹介

留萌市



留萌市の花……ツツジ

昭和52年10月1日、留萌市の花として告示制定されたもので「ツツジ類のうち留萌地方に適應するものすべてを含む」とあります。



黄金岬の夕日

北海道の西海岸に位置する留萌市は、海に沈む落陽の太陽画、数分の落日のアートが楽しめます。

金波、銀波の縋れ織り。日本海に面した黄金岬で、潮風に吹かれながら眺める夕日は絶品中の絶品です。

RUMOI

ご意見・投稿募集

『ガバナー月信』では、より会員の皆様の声を反映させた誌面づくりを行ないたいと考えております。『月信』に関するご意見・投稿などございましたら下記事務局へ。

事務局 札幌市中央区大通西6丁目
北海道医師会館6F

TEL 011-219-2510 FAX 011-222-1526

E-mail scs-hk@phoenix-c.or.jp